医療法人腎愛会

平成 28 年度年報

平成 29 年 11 月

上山病院

うえやま腎クリニック

高齢者福祉複合施設「光陽」

上山病院

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿 3 丁目 17-6
TEL 099-257-2277
Fax 099-252-0722

うえやま腎クリニック

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿 4 丁目 39-20
TEL 099-275-3211
FAX 099-275-3212

高齢者福祉複合施設「光陽」

〒890-0073
鹿児島市宇宿 3 丁目 22-10
TEL 099-257-5455
FAX 099-257-5445

法人本部

〒890-0073
鹿児島市宇宿 3 丁目 21-5
TEL 099-259-8811
FAX099-259-8469

医療法人腎愛会　平成28年度版年報の発行にあたって

日頃より医療法人腎愛会の運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
昭和56年1月、この宇宿の地に「上山内科クリニック」を開設してから、おかげさまで37年目を迎えました。ここまで来られましたのも、ひとえに患者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、そして関係者の方々のお力添えのたまものと感謝いたしております。

平成29年1月、腎愛会では高齢者福祉複合施設「光陽」を新設し、新たに介護事業に取り組むこととなりました。サービス付き高齢者向け住宅30戸に併設する形で、皆様がご自分に合った介護サービスを利用するため介護支援専門員がサポートをする「ケアプランセンター」、住み慣れた場所で安心して暮らせるよう看護師が24時間365日体制でサポートをする「訪問看護ステーション」、スタッフに介護福祉士と作業療法士の有資格者を揃え「その人らしさ」を大切にしながら生活リハビリや趣味活動を楽しめる「デイサービス」の3事業を開始いたしました。

この「光陽」は、クリニック寺口院長の「透析患者様を受け入れて下さる介護施設を近隣で見つけることができず、転院を余儀なくされることが続き、大切な患者様を最後まで診ることができず、医師としてとても悔しい思いをしたこと」が開設への原点となっています。これは、私自身の創業当時の透析への思いと重なるところがあり、とても感慨深いものがあります。

平成28年11月に公表されました鹿児島県地域医療構想によりますと、今後も急速な少子高齢化が進み、平成37年（2025年）には全国の人口の18%を75歳以上が占める超高齢化社会を迎えるそうです。いわゆる2025年問題です。私たちの住む鹿児島県に目を向けますと、昭和30年（1955年）以降、高齢化率は常に全国平均を上回っており、平成26年（2014年）時点での75歳以上人口の総人口比率では全国47都道府県で6位になるなど、全国平均を上回るペースで超高齢化が進んでいます。

このような社会情勢も鑑み、ここ宇宿地区の医療・介護の一拠点として、広く地域の皆様のお役に立てる腎愛会でありたいという思いを込めて「光陽」の事業に取り組んでおります。

平成 30 年（2018 年）には医療・介護報酬のダブル改定という大きな節目を迎え、医療・介護を取り巻く環境はますます厳しくなることが予測されます。どのような状況でも「地域に貢献する」という強い気持ちをもって、腎臓・透析医療の専門機関としてのみならず、新たに介護・在宅看護の機能を備えた「地域のかかりつけ医」として、皆様のくらしの安心を支えられるよう、腎愛会職員一丸となって邁進してまいります。

今後とも一層のご支援・ご厚誼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成29年11月

医療法人腎愛会　理事長　上山達典

ごあいさつ

今年も皆様のご指導、ご協力のお陰で 1 年間無事に務めることができました。
心より感謝し御礼申し上げます。

2016 年は何といってもオリンピックでの日本選手団の活躍でしょうか。合計メダル獲得数が 41 個と歴代最高ということで、熊本地震や世界各国で起きているテロ事件など悲しいニュースが多い中、世の中を明るい話題で満たしてくれました。

腎愛会は 2016 年より新たに介護部門へ取り組み、2017 年 1 月にサービス付き高齢者向け住宅を始めとする、高齢者複合福祉施設『光陽』を開設することができました。まだ始めたばかりで戸惑う事も多くありますが、サービス付き高齢者向け住宅では、心身に不安を抱える高齢の方々が住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けることのできるように、当院で加療している患者の皆様はもちろん、地域の皆様に少しでもお役に立てるようにと頑張っております。

2018 年度は、介護報酬・診療報酬の同時改定のみならず、第 7 次医療計画・第 7 期介護保険事業(支援)計画・第 3 期医療費適正化計画がスタートするということで、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目を迎えることになります。団塊の世代が要介護になる確率が高まる後期高齢者(75 歳以上)に移行してくる 2025 年。後期高齢者数が 2015 年(約 1600 万人)の約 40%増となり、介護費用は現状の約 10 兆円から 21 兆円となる予想が出ています。更に深刻なのは、専門職も 38 万人が不足すると推定されています。つまり、現状のまま進むと予算も専門職も足りず、医療も介護も、ひいては国家財政もパンクしてしまう、ということのようです。今後は限られた医療・介護の資源でいかに効率を高め、質の高い医療・介護を提供していけるかがポイントとなっており、腎愛会としましても今後どのような役割を担い、医療及び介護の提供体制を構築していくことができるのか、どのようにしたら当院にかかる患者の皆様の自立と尊厳を持続的に支えていく事が出来るのかなどを検討していく必要があります。このように医療・介護を取り巻く環境のみならず、世の中も大変な時代になってきていますが、これまでに取り組んできた組織づくりをもとに、スタッフ皆で一致団結し腎愛会の目標に向かって成長していきたいと思います。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

『日本で最高の病院にしていこう！』

①来られる患者さん、そのご家族が「素晴らしい治療をしてもらえて、本当によかった」と心から言っていただける病院

②スタッフが「私は素晴らしい病院で働いている」と実感できる病院

③他の病院や医師から「あの病院は最高の医療を提供している」と認めてもらえる病院

うえやま腎クリニック

院長　寺口　記代

《　目次　》

ごあいさつ

１　理念・基本方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1
２　患者様の権利について　・・・・・・・・・・・・・・・・・　2
３　概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3
４　沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6
５　各部門の紹介・実績報告　・・・・・・・・・・・・・・・・　7
６　研究実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　31
７　院内研修開催実績　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33
８　１年間の主な出来事　・・・・・・・・・・・・・・・・・　36
９　医療機器　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　37
10　病院組織図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　38
11　委員会活動　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　39
12　統計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　40
　⑴患者データ【上山病院】
　⑵患者データ【うえやま腎クリニック】
　⑶送迎データ
　⑷職員データ

1　理念・基本方針

■理念

私たちは、豊かな人間愛を持って、常に最良の医療を求めて最善を尽くします。

■基本方針

1）質の高い医療を追及するために、たゆみなく研鑽します。
2）医療人としての誇りを自覚し、公共のために行動します。
3）温かい医療を提供するとともに、地域のために貢献します。

（平成 24 年 1 月 1 日改定）

■行動規範

四維（礼・義・廉・恥）

礼　　礼を重んじ、感謝の気持ちを持ちます。
義　　正しい道を求め、公共のために行動します。
廉　　心を清らかに保ち、素直に接します。
恥　　恥じることを知り、同じ過ちを繰り返さないよう創意します。

2　患者様の権利について

■患者の皆様の権利と責務

Ⅰ　患者の皆様には次のような権利があります。
　１　等しく安全で良質な医療を受ける権利があります。
　２　治療方針・治療効果・危険性などについて知ることができます。
　３　治療方針について、別の医師の意見を希望することができます。
　４　診療内容などの個人情報は保護されます。
　５　医療費の詳細について、説明を受けることができます。

Ⅱ　患者の皆様には次のような責務があります。
　１　最善の医療を受けるために、病状経過・過去の治療歴などについて情報提供をしていただく責任があります。
　２　病を克服するために、医療関係者と協働して治療に取り組む必要があります。
　３　円満な医療を受けるために、病院や社会生活上のルールやマナーを守る必要があります。
　４　診療上必要な医療費を負担する必要があります。

■説明と同意

医学・医療は科学技術の発展に伴って急速に進歩し、診断・治療の中身が専門的になり、理解が難しくなっています。また、高齢者が多くなり、慢性疾患が増加し、疾病構造も大きく変わっています。

そこで、患者さんやご家族におかれましては、十分な説明を受け、よく理解してから、自分の人生観に従って、主体的に生きていこうとお考えになろうかと拝察いたします。

私ども医療従事者は、このような患者さんのよりよい支援者として努めてまいりますので、ご不審な点がございましたらご遠慮なくお尋ねください。

そして、十分に理解し同意して、診療にご協力をお願いいたします。

3 概　要

【上山病院】

１）名　称：医療法人　腎愛会　上山病院
２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 17-6
３）開設者：上山達典
４）開設年月日：平成 21 年 7 月 1 日
５）管理者：上山達典
６）診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科、血管外科
７）延床面積：3450.48 ㎡
８）病床数：40 床（療養病床 40 床）
９）施設基準等
　①基本診療
　　療養病棟入院基本料 1、在宅復帰機能強化加算、療養病棟療養環境加算 1、
　　入院時食事療養（Ｉ）／生活療養（Ｉ）
　②特掲診療
　　薬剤管理指導料、ニコチン依存症管理料、医療機器安全管理料 1、
　　透析液水質確保加算 2、感染防止対策加算 2、患者サポート体制充実加算、
　　CT 撮影及び MRI 撮影、糖尿病合併症管理料、運動器リハビリテーション料Ⅲ、
　　外来リハビリテーション診療料
　③医療機関の指定
　　保険医療機関指定
　　特定疾患治療研究事業委託医療機関
　　障害者自立支援法指定医療機関（更正医療）
　　生活保護法指定医療機関
　　労災保険指定医療機関
　　労災二次健診指定医療機関
　　結核指定医療機関
　　原爆被爆者一般疾病医療機関
　　原爆被爆者二世健康診断委託事業医療機関
　　特定健診医療機関
　　65 歳以上インフルエンザ予防接種
　　肝炎治療特別促進事業指定医療機関
　　日本透析医学会教育関連施設認定
　　鹿児島県女性にやさしい医療機関
　　65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種
　　鹿児島市 CKD 予防ネットワーク腎臓診療医療機関

【うえやま腎クリニック】

１）名　称：医療法人　腎愛会　うえやま腎クリニック
２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿四丁目 39-20
３）開設者：上山達典
４）開設年月日：平成 18 年 5 月 20 日
５）管理者：寺口記代
６）診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科
７）延床面積：1609.54 ㎡
８）施設基準等
　①特掲診療
　　医療機器安全管理料 1、透析液水質確保加算 2
　②医療機関の指定
　　保険医療機関指定
　　特定疾患治療研究事業委託医療機関
　　障害者自立支援法指定医療機関（更正医療）
　　生活保護法指定医療機関
　　労災保険指定医療機関
　　原爆被爆者一般疾病医療機関
　　特定健診医療機関
　　65 歳以上インフルエンザ予防接種
　　65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種
　　鹿児島市 CKD 予防ネットワーク腎臓診療医療機関

【高齢者福祉複合施設「光陽」】

１）名　称：医療法人　高齢者福祉複合施設「光陽」
２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 22-10
３）開設者：上山達典
４）開設年月日：平成 29 年 1 月 17 日
５）管理者：寺口記代
６）サービス内容：サービス付き高齢者向け住宅
　　訪問看護ステーション
　　ケアプランセンター
　　デイサービス
７）延床面積：1902.44 ㎡
８）施設概要
　①サービス付き高齢者向け住宅
　1 人部屋（26 ㎡）　　26 部屋
　2 人部屋（33.15 ㎡）　　2 部屋
　2 人部屋（44.85 ㎡）　　2 部屋
　食堂・談話室
　②デイサービス
　　デイサービスフロア
　　相談室
　　浴室
　　静養室（2 床）

4 沿　革

昭和56年　1月17日	上山内科クリニックを開設（職員数13名、許可病床数19床）
昭和60年　5月16日	有限会社USK企画設立（資本金300万円）
昭和60年　6月14日	看護婦寮（上山ハイツ）竣工
昭和62年　3月31日	上山内科クリニックを閉院
昭和62年　4月　1日	上山病院を開設（職員数45名、許可病床数48床）
昭和62年10月　1日	医療法人腎愛会設立（資本金8，600万円）
平成　2年　8月	Push/Pull-HDF（日機装社製）導入
平成　4年　4月　1日	じんあいクリニック開設（外来透析専門施設、無床）
平成　4年11月	Push/Pull-HDF（上山式）を開発し導入
平成　6年10月　3日	USK企画を有限会社から株式会社に改組（資本金1，000万円）
平成　7年12月25日	上山病院の増改築を実施し、2床減床（職員数73名、許可病床46床）
平成　9年　4月　1日	上山病院に泌尿器科を増科
平成11年12月30日	療養病床施設基準に対応するために上山病院を改築
平成15年　7月31日	USK企画本社ビル（現法人本部ビル）竣工
平成15年　9月　1日	上山病院の病床を「その他一般病床」から「療養病床」へ転換
平成16年10月19日	USK企画本社ビル（現法人本部ビル）、第8回鹿児島市建築文化賞受賞
平成18年　5月30日	うえやま腎クリニック開設
平成18年　7月　1日	USK企画宇宿事業所（現USK企画本社）竣工
平成20年　3月31日	じんあいクリニック閉院
平成21年　3月　1日	上山病院・うえやま腎クリニックに腎臓内科・人工透析内科を増科
平成21年　7月　1日	新上山病院へ移転（職員数124名、許可病床数40床）
平成21年10月　1日	上山病院に循環器内科を増科
平成23年　1月16日	開院30周年記念式典
平成24年　1月　6日	公益財団法人　日本医療評価機能機構　病院機能評価　Ver.6　認定
平成24年　2月　7日	次世代育成支援対策推進法基準適合一般事業主認定（厚生労働大臣）
平成25年　3月15日	日本透析医学会教育関連施設認定
平成25年　5月　8日	鹿児島県女性にやさしい医療機関指定
平成26年10月　1日	オーダリングシステム導入
平成27年　4月　4日	福利厚生施設　霧島山荘竣工（改築）
平成27年　7月　1日	R-Zero システム（自社開発リスクマネジメントシステム）導入
平成27年11月　1日	上山病院に血管外科を増科
平成28年　2月18日	高齢者福祉複合施設「光陽」地鎮祭
平成28年11月　1日	高齢者福祉複合施設「光陽」　ケアプランセンター　開設
平成29年　1月11日	高齢者福祉複合施設「光陽」　デイサービス開設
平成29年　1月17 日	高齢者福祉複合施設「光陽」　サービス付き高齢者向け住宅　入居開始
平成29年　1月22日	高齢者福祉複合施設「光陽」　訪問看護ステーション　開設

(1)診療部

部門紹介

病院診療部は、常勤医師 4 名と非常勤医師 7 名の体制で診療にあたっております(29 年 3 月現在)。常勤医師 1 名は心臓血管外科が専門で平成 27 年末に「血管外科」の標榜を新たに設けております。当院では外来透析、外来診療（一般外来・生活習慣病外来・禁煙外来など）、入院診療（入院透析含む）を行っており、外来患者様も増加傾向にあり、広くご利用いただける医療機関となってきました。専門のみならずプライマリーケアにも積極的に取り組んでいることから、患者様が以前より多様になり、地域の皆様からかかりつけとして選ばれる機会も増えております。また、腎移植医療は、鹿児島大学病院と連携し、サポート体制の確立を引き続き進めております。

一般外来（患者延べ数　月平均 701 名）は慢性腎疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症などを中心に、総合内科的機能を持ち、地域の皆様に広く受診して頂ける病院を目指しております。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

当院では、内科的管理と血管外科の医師による外科的管理が可能であり、透析シャント設置術や、バルーンカテーテルを用いた経皮的血管形成術（PTA）が行えることから、バスキュラーアクセス管理を自施設で完結できる環境が整っております。腹膜透析のカテーテル留置術と併せて、院内の手術件数も増加しており、PTA については平成 22 年度には 70 件程度でしたが、平成 27 年度には 200 件を超え、平成 28 年度も 238 件実施と件数を重ねております。今後も引き続き、透析医療に貢献するべく技術を磨き続けたいと思います。また、平成 29 年度も腹膜透析患者の導入から継続的管理に積極的に取り組んで参りたいと考えております。

平成 21 年より取り組んでいる禁煙外来につきましては、これまでに 45 名の方が成功されました。今後も継続して取り組み、これまで以上に成功者を増やしていけるよう努力したいと思います。

患者様のより良い療養生活を維持するために、各種超音波診断装置や CAVI（動脈硬化指標の検査）など、非侵襲的な検査を積極的に行い、脳血管障害、心疾患、生活習慣病など、患者様の予後を悪化させる因子の早期発見に努めて参ります。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

病院を受診される患者様は何らかの苦痛、不安を抱えておられる方がほとんどです。私たちは、患者様がご自分の症状や不安を医師やスタッフに相談しやすい環境づくりに努めております。患者様の目線で、患者様と一緒に病気と向かい合う姿勢を心がけております。また、総合内科窓口として、適切な専門病院へ橋渡しすることも重要な仕事です。近隣医療機関との連携をよりから密にしながら、患者さん本位の医療に取り組んでいきたいと考えております。

研究・自己啓発活動について

積極的に学会発表、論文作成を行い、それぞれの専門分野の学会、研究会にも可能な限り参加し、常に最新の知識を得るように心がけております。また、各種研究会の座長や、医薬品会社の社内講演会など地域の講演会や、介護系施設への腹膜透析に関する勉強会の講師も務め、腎臓医療・透析医療に関する普及啓発にも力を入れております。(詳細は、「6 研究実績」参照)

地域活動について

平成 28 年度は高齢者福祉複合施設「光陽」建設のため、地域の方々との催し物は宇宿中地区お達者クラブへの職員派遣のみでしたが、29 年度以降は介護関連サービス部門とも協力して、地域に開かれたイベント等を開催する予定です。お気軽にお越しくださいませ。

(2)地域連携室

部門紹介

社会福祉士 2 名体制で、入退院支援や外来通院患者様や外来透析患者様の在宅療養の支援をしております。週 1 回実施されている合同カンファレンスにて患者様の支援状況の報告や、効率的な支援についての検討を行っております。また、各部署の業務が円滑に行えるよう支援を行っております。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度は「介護支援連携指導」を 16 回実施致しました。また、当院は医療療養病床を有し、「在宅復帰機能強化加算」を届け出ていることから、平成 28 年度は、退院後の患者様のモニタリングを 52 件実施しております。

当腎愛会では、患者様満足度調査を平成 23 年より実施しており、平成 28 年度も地域連携室にて退院患者様、外来透析患者様、うえやま腎クリニック外来透析患者様に対してアンケート調査を行いました。集計結果は当年報巻末に収載しております。

私ども腎愛会地域連携室においては、「地域包括ケアシステム」の構築の必要性について考えさせられることがあり、昨年度から、今年度にかけて「地域包括ケアシステム」について学ぶ機会を設け、地域連携室としていかに行動するかが課題となってきております。今後も学びを深め、業務に行かせるよう取り組む予定です。

その他、私達の業務の取り扱い件数等を記載いたします。

地域連携室書類下書き件数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
介護保険主治医意見書	114	97	85	92	93	100
身体障害者意見書	10	34	23	28	27	33
リハビリ診療情報提供書	41	14	6	23	22	18
年金関係書類(意見書)	7	15	15	19	27	26
その他紹介状	9	22	10	19	7	2
居宅療養管理指導(診療情報)	5	0	0	0	0	5
計	186	182	139	181	176	184

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
介護支援連携指導	8	15	16
患者様モニタリング	32	52	72
計	40	67	88

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

平成 28 年度も患者様やご家族の皆様とお話しをし、様々な不安の解消やご要望に応えられるよう業務に取り組みました。また、入院された日から退院に向けての取り組みを行うことで、在宅復帰への患者様ご家族の皆様の不安解消に努めました。

研究・自己啓発活動について

平成 28 年度は地域包括支援センター主催の多職種連携会議や、地域包括ケアシステムに関する研修等に参加し、情報収集等を行いました。引き続き研修会や、自治体レベルの会議の傍聴などに参加する予定です。また、鹿児島県透析医会で実施した「鹿児島県の高齢透析患者介護実態調査」の集計等を担当いたしました。

地域活動について

宇宿中仲お達者クラブへの出前講座を 11 月に実施しました。

(3) 薬剤科

部門紹介

平成 28 年度は常勤薬剤師 2 名、非常勤薬剤師 1 名と事務職員 1 名（総務課所属）の体制をとっていました。主な業務は処方監査、疑義照会、調剤、調剤監査、配薬、持参薬鑑別、服薬指導、薬品管理、DI 業務、配置薬管理、麻薬・向精神薬管理、治験薬管理などです。正確な調剤、わかり易い服薬指導、迅速な情報提供を基本として、患者さまから求められる薬剤師、職員の皆さまから頼りにされる薬剤師を目指して日々努力しております。なお平成 29 年 3 月より外来透析患者様の薬剤が院外処方となりました。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

外来透析患者様の定期配薬を、曜日ごとの一斉配薬からブロック別配薬としたことで、1 回の配薬人数が減り、患者様への説明・指導に時間を割くことができるようになりました。指導についてはアドヒアランスの向上につながるように詳細で丁寧な説明を心がけました。

病棟業務では持参薬のある患者様は鑑別を行い医師、看護師へ鑑別情報を提供するとともに、看護師との連携により患者様に応じた投薬を実施しました。安全性の面から 1 包化の必要な患者が多く調剤に時間がかかることから、医師に定期処方の早期オーダの協力をいただき、早期調剤に取り組みました。入院患者の処方は前回薬歴を確認するように変更し、処方監査を行い、疑問点があった場合は医師に照会し安全な投薬に努めました。薬剤管理指導についは、アドヒアランスの低下している患者を中心に、それぞれに合った説明・指導を行い服薬改善に努めました。平成 28 年度の薬剤管理指導件数は 37 件で入院患者に対する実施割合は 7.9%でした。

平成 29 年 3 月末現在の採用医薬品数は 470 品目（内服 258 品目、外用 66 品目、注射 146 品目）で、後発医薬品採用割合は 29.2%（137 品目/470 品目）でした。

平成 28 年度の処方箋枚数は、一般外来院内処方箋枚数 664 枚（前年度比 76.7%）、外来透析院内処方箋枚数 8,905 枚（前年度比 88.2%）、入院処方箋枚数 2,921 枚（前年度比 102.2%）でした。平成 28 年度末から外来透析患者様の院外処方が開始となったため、院外処方箋発行率は 45.5%（7,980 枚/17,549 枚）となりました。

平成 28 年度は外来透析患者様への配薬と入院患者の持参薬管理を通じて医薬品の適正使用に取り組んだ 1 年であったと考えます。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

外来透析患者、入院患者ともどうすれば飲み忘れ、服薬間違いなどが起こらないかに念頭におき、患者の服薬状況に合った説明を心がけました。平成 29 年度は外来調剤がなくなったことから病棟業務を充実させ、患者の満足度をさらに向上させたいと思います。

研究・自己啓発活動について

院内では医薬品説明会を 12 回実施しました。院外では、鹿児島県病院薬剤師会、鹿児島市薬剤師会、メーカーが主催する講演会、講習会に積極的に参加し業務に役に立つ情報の収集に努めました。また日本腎臓病薬物療法学会に参加し、腎機能低下時の医薬品の適正使用に関して幅広く知識を吸収するとともに新しい情報も学んできました。当院薬剤師が他医療機関の方々にもご協力いただき、はこれまでに鹿児島県では活動していなかった「鹿児島腎と薬剤研究会」を立ち上げ 2 回の研修会を開催しました。研究会の発足は、病院や調剤薬局に勤務する薬剤師の腎機能に応じた薬剤調整に大きな役割を担っております。

地域活動について

腎臓いきいき教室では「腎機能を悪化させないための薬との付き合い方」、お達者クラブでは「薬の正しい飲み方と注意点について」と題して講和をおこないました。今年度もわかり易い講和を心がけて患者の服薬アドヒアランスの向上に取り組みたいと考えています。

(4) 検査科 臨床検査チーム

部門紹介

臨床検査チームでは、常勤 2 名、パート 1 名の計 3 名の技師で検査を行なっています。業務内容は、生理検査では、頚部エコー、血管エコー、心エコー、腹部エコー、心電図、ABI 検査を主に行い、臨床検査では、生化学検査、末梢血液一般検査、尿検査などを院内にて行っています。免疫検査では、血液型検査、交差適合試験、不規則性抗体のスクリーニングを院内で行っています。検査数は年々増加傾向にあり、検査が重なって大変な時間帯もありますが、迅速に正しい検査結果が得られる様にマニュアルを遵守し、時間に追われながらも患者様と接するときは、穏やかにゆとりを持って接するように心がけています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

今までは心エコー、頸部エコーができる技師が限られていましたが、検査数も増えてきたことから今年度から複数人が検査できるように取り組んでいます。

平成 29 年度は生化学の機械の更新があるので、この機会に試薬及び標準液等の見直しを行い、コスト削減に取り組みたいと考えています。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

一般外来患者様の検査を院内にて実施しており、検査結果報告までの時間を 20～30 分とし、患者様の待っている時間短縮に努めています。全てのエコーの実施時間も 20～30 分で検査が終了できるようにしています。まだまだ改善しなければいけないところもありますが、1 分でも患者様の待つ時間を短縮し、且つ正確な検査結果が報告できるよう努力していきたいと思います。

研究・自己啓発活動について

検査技師会、超音波検査学会に入会し、検査技師会、超音波学会主催の学会や勉強会に進んで参加し、スキルアップに努めています。また検査結果に関しては、日本臨床検査技師会の外部精度管理にも参加し、精度を保っています。

地域活動について

『腎臓いきいき教室』では腎臓病の検査という題目で患者様に判りやすく検査について説明しています。

(5) 検査科 放射線チーム

部門紹介

放射線チームは診療放射線技師 2 名体制で、上山病院外来・病棟、うえやま腎クリニック外来の患者様の一般撮影(胸部・腹部等)、CT 検査、PTA の手術等の撮影、エコー検査等を行っています。

上山病院には一般撮影装置・透視台・CT 装置・外科用 C アーム、CR 装置が、うえやま腎クリニックには一般撮影装置・透視台、CR 装置、画像保存用サーバ(PACS)が設置されています。

2 名と少数部署の為、検査の内容や検査日によっては患者様にお待ち頂く事もありますが、外来、臨床検査チーム、医事課、総務課などと連携をとり、患者様の待ち時間をできるだけ短縮できる体制と、患者様が安心して検査を受けていただける部署づくりを目指しています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度の撮影件数は、別紙の通りです。

27 年度と比較し、透析患者様、外来患者様の増加により一般撮影や CT 撮影の件数が増加してきました。

エコーについては腹部エコーだけでなく、頸部エコーやシャントエコーにも少しずつですが対応可能となり検査の幅が少し広がりました。今後も適切な報告書が返せるよう今後も技術・知識の習得を図っていきます。

信頼され選ばれる病院を目指して～患者様満足度向上の取り組み～

マルチスライス CT や外科用 C アーム導入から 3 年経過しました。マルチスライス CT を導入したことで、検査に要する時間を大幅に短縮することができるようになり、装置を更新したことで造影 CT を 30 分程で終了できるようになりました。単純 CT 撮影も以前と比べ検査時間が短縮されました。

C アームを導入し、PTA だけではなく、CAPD の術中対応や内頸カテーテル留置等対応する検査の幅が少し増えてきました。対応する検査が増加することで被曝も増加します。今後は患者様、スタッフの被曝低減も考えて対応していきたいと思います。

検査で待ち時間が発生する場合は、医事課、総務課などと連携をとり、患者様に声掛けをしながらなるべく待ち時間を短縮できるよう心がけています。

研究・自己啓発活動について

28 年度は日本診療放射線技師会の研修やエコーのハンズオンセミナー等に参加しました。その他研修会やエコーの研修会に可能な限り参加し、知識を身につけるため研鑽しています。

28 年度は院内研究で PTA 中における術者やコメディカルの被曝について発表しました。

地域活動について

28 年度は健康祭り等開催がなく、交流を図る事はできませんでした。今後イベント等開催されるときには積極的に参加していきます。

（6）臨床工学科

部門紹介

臨床工学科は、上山病院に臨床工学技士 7 名・准看護師 1 名・助手 1 名、うえやま腎クリニックに臨床工学技士 2 名・の計 11 名で構成されています。

透析監視装置は、上山病院に 92 台（HD 装置 42 台、HDF 装置 50 台）、うえやま腎クリニックに 40 台（HD 装置 20 台、HDF 装置 20）配置してあります。

医療機器のメンテナンスを充実させ、安全で効率的な運用ができる環境作りを目指すと共に、患者様に安心して満足した透析を受けていただけるよう、他職種と連携し技術向上に努めています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度

・HDF 認定装置 20 台の導入することで、多くの患者様に HDF 治療の提供が可能となりました。

・上山病院のエコーガイド穿刺技術のレベル向上に努めました。

・アフェレーシス療法（LDL、DF サーモ、CART）を対象患者様へ提供することができました。

・装置・水質管理を充実させ、より安全な透析療法を患者様へ提供することができました。

※水質管理データ（生菌検査データ）別紙参照

平成 29 年度

・3 階機械室への透析関連装置導入を進めていきます。

・患者様個々に合った血液浄化療法が提供できるように取り組んでいきます。

・他部署への協力体制を整え連携を密にし、職員組織力の向上に努めていきます。

信頼され選ばれる病院を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安全で質の高い血液浄化療法を継続できるように、28 年度の部署目標を立てました。

1. ME 機器の中央管理体制を目指します。
2. 患者個々に合った血液浄化法を考えます。
3. CE の業務役割分担を充実させ、経営基盤の強化と職員組織力の向上に取り組みます。

研究・自己啓発活動について

平成 28 年 6 月 第 61 回日本透析医学会で『ダイアライザーへアミノ酸は吸着されているのか～Single Pool モデルにおける in Vitro 実験』を発表しました。

平成 29 年 6 月 第 62 回日本透析医学会で『ヘモダイアフィルタ NVF の臨床評価』を発表予定です。

地域活動について

平成 28 年鹿児島県市民健康まつりへ業務支援として参加しました。

(7) 栄養科

部門紹介

栄養科は、管理栄養士 2 名、給食業務委託先の栄養士 1 名および調理員 3 名で構成されています。業務内容は、患者様一人ひとりに合った食品構成の作成、献立作成とその展開、栄養管理、栄養指導・栄養相談、食材の発注・検品などです。

治療効果が上がり、なおかつ入院生活の中の楽しみの一つだと思っていただけるような季節感のある食事の提供を心掛けています。また、食事摂取量の少ない方や栄養状態の低下がみられる方には、食事の内容や形態を工夫することで食事摂取量や栄養状態の改善に繋がるよう努めています。

栄養指導・栄養相談では、主に腎臓病や透析の食事療法について、患者様の立場になってその方が実践できる内容をわかりやすく伝えることを心掛けてお話ししています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度は、透析を導入される入院患者様のご家族を対象に当院の食事を試食していただく「腎愛キッチン」を、入院患者様全員のご家族に対象を広げて実施しました。患者様はもちろんのこと、ご家族も実際に治療食を試食することで食事療法に対しての理解を深めていただける良い機会になっているのではないかと思います。今後も実施を継続して患者様とそのご家族のサポートをしていきます。

平成 29 年度は、外来・病棟・透析室・腎クリニックと密に連携をとり、より多くの方々に栄養指導・栄養相談を行えるよう取り組んでいきたいと思います。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様満足度向上の取り組み～

喫食・嗜好調査を年 4 回、入院患者様を対象に行っています。調査をすることで患者様の嗜好の傾向を把握し、その結果や食事へのご意見などを献立に反映させられるように努めています。

患者様のなかには食事療法に対して不安を持っている方も少なくないので、栄養指導等ではしっかりと話を聞き、適切なアドバイスができるように努めています。

研究・自己啓発活動について

日本栄養士会に入会し、食・栄養に関する研修会に積極的に参加しています。得た知識や情報を業務に活かせるよう自己研鑽に励んでいます。

地域活動について

年 6 回開催している外来患者様向けの腎臓いきいき教室で、食事療法についてお話をしています。教室では腎臓病食の試食も行っています。

(8) リハビリテーション科

部門紹介

リハビリテーション科は平成 27 年 4 月に開設され、理学療法士 1 名体制で運動器リハビリテーションに取り組んでいます。

高齢者福祉複合施設「光陽」には作業療法士 1 名がデイサービス担当として在籍しており、介護分野に関しての強化も進めています。

今後は腎臓リハビリテーションの普及も目指しており、透析中のリハビリテーションも実践していきたいと考えております。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度より開始・実践内容

① 退院時リハビリテーション指導表作成・指導実施

② 目標設定管理シート作成・指導実施

③ 理学療法士不在時(日曜日等)の歩行練習

平成 29 年度の取り組みといたしまして、入退院時の FIM 測定や握力測定、10m歩行速度測定等によるリハビリテーション経過確認も実施していく予定です。患者様とともにリハビリ効果が実感でき、目標に向かって頑張っていきたいと考えています。

【平成 28 年度　リハビリテーション介入件数】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
152	129	113	94	127	128	150	128	103	128	116	110

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安心した在宅生活が送れるよう、当院独自の取り組みである生活環境チェックシートにて在宅状況を確認し、退院後の生活を意識したリハビリテーションに取り組んでいます。

退院後、自宅での生活が不安な方に関しては、入院中にご自宅を訪問し、すり設置位置のアドバイス等も実施し、患者様とともに退院に向けリハビリテーションに日々取り組んでいます。

研究・自己啓発活動について

腎臓リハビリテーション学会参加　(平成 29 年 2 月 18・19 日：つくば国際会議場)

第 46 回日本腎臓学会西部学術学会参加　(平成 28 年 10 月 14・15 日：シーガイヤコンベンションセンター)

理学療法士協会主催、鹿児島食介護研究会主催、鹿児島医師会主催、実践フットケア研究会主催等、様々な分野の研修会に参加(院外研修会参加：計 16 回)し、多くの患者様に対応できるよう自己研鑽に励んでいます。

地域活動について

患者様が住み慣れた地域へ退院できるよう、入院中に患者様宅に伺い、様々なアドバイス等を行う退院前訪問も実施しております(諸条件はあります)。

住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、少しでもお手伝いしていけたらと考えております。

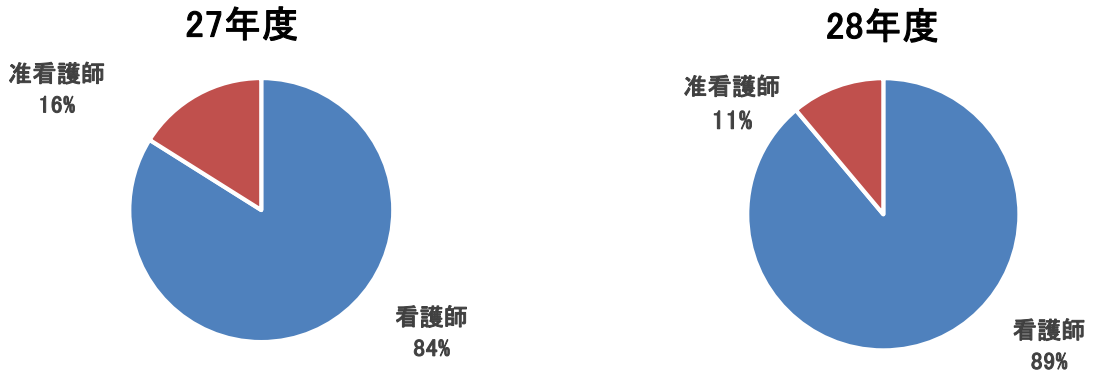
(9)看護部

部門紹介

【概要】

腎愛会看護部は、上山病院の病棟、透析室、外来・手術室の 3 単位とうえやま腎クリニックの 1 単位、29 年 1 月より訪問看護ステーション光陽が加わり、5 単位合同で連携を取り看護活動を展開しています。看護部及び看護教育の理念、基本方針を拠りどころに、安心安全な看護の提供と、自己育成できる人材の育成を目指しています。来年度も 2 名の准看護師が看護学校への進学を目標にしています。個々の目標を、看護職全員がサポートしあう環境が整いつつあります。

＜看護師と准看護師の割合＞



平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

29 年 1 月より、組織の改革と次世代の役職育成を目指し、副師長と副主任の職位を設けました。職階が増えたことで役割分担がなされ、役職者の連携が密になるとともに、スタッフの様々な意見が聞かれ、風通しが良くなったように感じます。初めて役職を担うスタッフも意欲が高く、今後の成長が楽しみです。

同時期に「高齢者福祉複合施設光陽」が開設され、看護部では、訪問看護ステーションを担う事になりました。地域住民や当院を必要とする方々が、自分らしい人生を全うできるよう、サポートさせていただきたいと考えています。

また、子育て支援の見直しも行いました。今までは、育児休暇明けの短時間勤務は、9：00～16：00 の 1 枠しかありませんでしたが、各部署の開始時刻より、6 時間～7.5 時間の枠で申請できるように改善しました。そのことにより、個々にワークライフバランスを考えた働き方ができ、意欲的に働くママさんナースが増えたと感じています。

さらに、多様化する看護業務の改善を図るため、先駆けとして、透析室にクラークの導入を行いました。臨床工学科との協力の下、透析室業務全体の見直しが行われ、少しずつ業務のスリム化が進んでいます。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

「患者満足度向上」=「職員満足度向上」と位置づけ、看護の質向上・ワークライフバランス・人材育成の取り組みが基本です。患者様に直接提供する看護サービスは、理念である「患者様に確かな技術と心に届く看護サービスを提供します」という共通理解のもと、各部署で切磋琢磨しながら展開されています。私たちは、“その人らしさ”を日々大切に考え、看護の提供にあたっています。

また、“自身の看護観を持ち、自己成長できる看護師の育成”を目指し、独自のクリニカルラダーに取り組んでいます。今年度は、レベルⅠの認定者を多く輩出したい。そのために、当院の看護師が苦手

としている「ナラティブの書き方」について、看護部主任会が勉強会を開催しました。看護の質向上が患者満足度向上に繋がることと考え、看護部の役職者が一体となり、人材育成に取り組んでいます。

研究・自己啓発活動について

昨年に引き続き慢性期施設合同研修会では、「離床センサーで行動制限を行った患者から学んだこと」と題し、病棟看護師が発表しました。院内発表会では、看護部の 3 部署が、日頃の自分たちの活動や学びをまとめ、発表することができ、自信と成長に繋がっています。院外研修には、昨年と同様、個人が関心のあるものや学びたいものに 1 つは参加することを目標に取り組みました。目標管理の個人目標にも研修参加を掲げ取り組む看護職は多く、自分のキャリアビジョンを描き、目標を持って自己啓発に取り組む意識が根付いてきました。

地域活動について

今年度は、光陽建設の関係で安全面を考慮し、「健康祭り」や「ふれあい看護体験」などの行事を中止しました。しかし、鹿腎協通常総会における救護班でのサポートや、看護協会が主催する町の保健室への派遣などで地域との交流を深めました。院内では、看護部の各部署の代表が、腎臓いきいき教室に参加し、講師を務めています。

(10) 外来・手術室

部門紹介

当院外来は、一般内科・腎臓内科・人工透析内科・循環器内科・血管外科・禁煙外来を掲げています。平成 27 年 12 月から新たに血管外科が加わりました。近年様々な疾患の方が、身近な医療機関として受診してくださるようになり、対応する疾病も多岐にわたっています。循環器医師が常駐し、高血圧・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病の指導も充実しています。診察や検査結果により、専門医へ紹介するなど適切な医療を心がけています。

外来看護師は 5 名体制で、外来診療業務のほかに、検査案内（エコー・CT・ホルター―心電図など)、手術(シャント関係・PTA・CAPD カテーテル挿入・下肢静脈瘤の手術など）中材管理を担当しています。外来チームとして医事課・地域連携室・検査科・薬剤科・栄養科などと連携し、患者様の QOL 向上を目指し、その人らしさを大切にしながら、支援できるよう努めています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

28 年度の取り組みは、CKD 看護の充実と計画的な導入、PD 患者の在宅支援、フットケアの確立と諸手術への対応でした。CKD 予防ネットワークからの紹介も多くなり、CKD 段階別指導にも力を入れてきました。また糖尿病療養指導士によるフットケアは年間 27 症例に携わり、血液透析患者、腹膜透析患者を中心に実績を上げています。29 年度は引き続きフットケアを充実するために他部署との連携を図り、PD 看護を充実させるための情報収集につとめ、他職種との協働して、在宅医療を支援していきます。また、訪問看護ステーション光陽と連携し、在宅看護の支援も行っていきたいと考えています。

シャント関連　81 件				PTA	CAPD 関連　8 件			下肢静脈瘤切除	その他
内シャント設置術	グラフト挿入	血栓除去	その他	238	カテーテル挿入	カテーテル抜去	その他		2
47	25	2	7		4	3	1	3	

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

患者様の受診目的や病状、ニーズに沿った医療、看護を提供するには、まず気持ちよく、安心して受診していただくことと、「また来てみようかな」と思っていただくことと考えます。そのためにも私たちスタッフが、優しい笑顔・丁寧な言葉づかい・穏やかな態度で応対するよう心がけています。また待ち時間が長くならないように、受付・医事課・検査科などと連携し、情報を共有しながら「目配り・気配り・心配り」の実践に努めています。

研究・自己啓発活動について

日本糖尿病教育看護学会・日本糖尿病学会九州支部会参加

地域包括ケアシステム構築における看護職の役割

地域活動について

腎臓いきいき教室は年に 6 回、公開講座として開催しています。案内は主に外来スタッフが行っていますが、各部署の専門スタッフが講師を務め、28 年度は、37 名が受講され好評でした。

(11) 透析室

部門紹介

透析室は、同時透析ベッド数 74 床で、200 名の患者様の透析を行なっています。

看護スタッフは 35 名（看護師 17 名・準看護師 4 名・短時間職員 2 名・パート職員 2 名・ケアスタッフ 8 名・クラーク 1 名）と医師・臨床工学技士・ソーシャルワーカー・医療事務・検査技師と連携をしながら業務を行っています。

透析患者様は、65 歳以上の方が全体の約 64.5%占めています。年々高齢化が進み、通院や在宅での生活に困難を来す患者様が増加しています。そのため、ソーシャルワーカー・家族と相談しながら社会資源を活用し、在宅での生活が続けられるよう支援を行っています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

1．業務改善の取り組み

平成 29 年 1 月 13 日より、「透析室の業務を細マッチョ化する・疲れない透析室業務の確立」を方針に、透析室の役職者会議を毎週（金）に行っています。現在は業務の効率化を目指し、¨せ～の¨で回収・¨せ～の¨でベッドメーキング・¨せ～の¨でプライミングや前日組み立てをしていく体制に挑戦しています。また、2 施設の病院見学に行き、それを参考にしながら、当院の透析室に合わせた業務改善に取り組んでいます。

2. 月水金患者様受入れ拡大の取り組み

透析患者増員に伴い、平成 27 年 11 月より 8：00（4 名）・13：30（4 名）の穿刺を開始しました。現在は、8：00 穿刺が 10 名・13：30 穿刺が 8 名に増えています。患者様の生活スタイルに合った時間帯でもあり、穿刺の待ち時間が短いことが患者様から評価をいただいています。

3. 外来透析患者様の院外処方変更への取り組み

病院の方針により、平成 28 年度末から院内処方から院外処方に変更になりました。開始当初は患者様から様々なご意見やクレームがありましたが、各部署（診療部・薬剤科・医事課・地域連携室）との協力で、患者様の意識も変化し徐々に定着しています。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

「患者満足度調査」のアンケート結果や指摘を謙虚に受け止め、「気配り・目配り・心配り」相手を思いやる気持ちをモットーに、患者体験・丁寧な言葉使いを継続していき、より一層の信頼関係が築いていけるよう努力していきます。

5S 活動の、整理・整頓・清潔・清掃・躾を基本に環境美化にも努め、患者様が心地良く安心・安全な透析治療が受けられるようスタッフ一同で取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

平成 28 年度の院内発表で「透析看護師のストレス～実態調査と現状把握～」と題して発表しました。資格取得については、平成 29 年 3 月に 1 名が介護福祉士を取得しました。看護師国家試験を目指す準看護師が 3 名います。院外研修では、訪問看護師育成研修に 1 名が参加し 6 か月の研修を終えて、透析室と訪問看護ステーションを兼務しています。また、個人で関心あるものや学びたい研修に参加し、日々自己研鑽に努めています。

地域活動について

年に 6 回開催される腎臓いきいき教室に 2 名が参加し講師をつとめています。また、NPO 法鹿腎協総会の救護班として 1 名が参加しました。

（12）病棟

部門紹介

当病棟は、医療型療養病床（40 床）、透析室（17 床）を持ち、看護師 17 名（育休 1 名）、ケアスタッフ 10 名（育休 1 名）が所属しています。主に慢性腎不全の患者様が入院されており、血液・腹膜透析の導入前から維持透析に関わった看護ケアを行っています。他には急性期病院からの心・脳疾患患者の療養目的、リハビリテーション目的の紹介患者も年々増加しています。平成 28 年度は、診療科に血管外科が加わったことで、他県からのバスキュラーアクセス手術依頼もあり、様々な分野の看護実践ができるようスタッフ一丸となり努力しています。

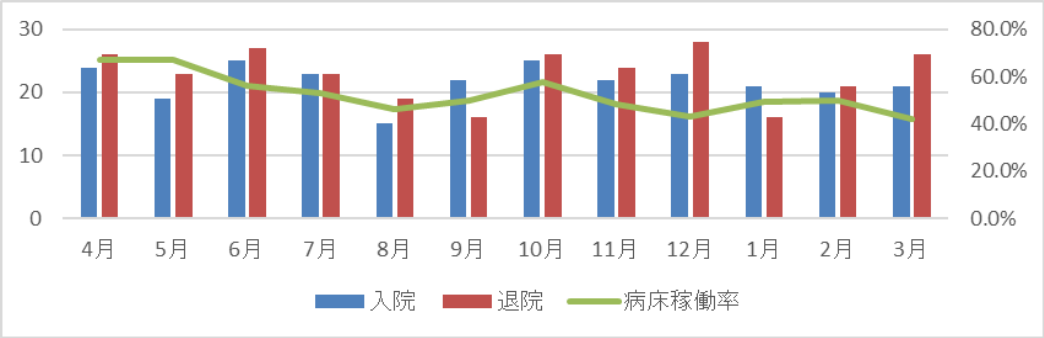
平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度は、透析患者様の日常生活と健康問題をアセスメントし、患者指導に力を入れて取り組みました。透析患者様にとって、治療は生活の一部であり、自己管理がとても重要です。退院しても、自宅で不安なく安心して継続治療を受けられるよう、患者様だけでなく、ご家族の方も安心できるような働きかけをしてきました。また、ケースカンファレンスでは、これまで何年も当たり前と思い込んでいた行為を、一症例の体験から、患者・看護師の行動・言動をアセスメント（分析）し、自分たちの関わり方を振り返る機会を頂きました。患者様の思いを一番大切に考えた看護を提供していくことを再認識した貴重な一年となりました。

【導入実績】　腹膜透析導入 6 名　　血液透析導入 25 名

【手術】入院患者の手術件数（手術件数 80 件＋PTA12 件）

【病床稼働】



信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

不安を抱えた入院生活を少しでも快適に、安心して治療を受けて頂きたく、スタッフ一同、患者様・ご家族へ共感の姿勢を持ち日々対応させていただいています。導入期や退院前の方には、担当看護師がなるべくお話を伺い、特に高齢の腹膜透析患者様には退院前の在宅訪問を実施し、治療環境に問題がないかを訪問時にアドバイスを行うなど、より安心して在宅治療に向き合えるように支援させていただいています。

今後も他職種と協働し、安心できる治療環境と退院支援に向けて取り組んでいきたいと考えています。

研究・自己啓発活動について

慢性期施設合同研修会

「離床センサーで行動制限を行った患者から学んだこと」発表。

地域活動について

腎臓いきいき教室を他部署スタッフと共に活動し、CKD 予防を地域に向けて発信しています。

（13）事務部

部門紹介

平成 28 年度は 4 月に組織再編を行い、法人本部に事務部門を集約し、事務部・総務課・施設課・経営管理室・医事課が同じ組織内で連携を高めながら業務水準の向上に努めてきました。

同時に事務部は総務課、施設課で構成されることとなり、上山病院並びにうえやま腎クリニックの受付、庶務、施設管理、患者送迎、清掃等の業務を担当しています。29 年 1 月からは高齢者福祉複合施設光陽の庶務、施設管理、清掃業務も担当することとなりました。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度は昨年度より引き続き、高齢者福祉複合施設 光陽の建設を進めました。各種申請手続き、建設計画を推し進め、29 年 1 月に無事に竣工し、新たな 4 部門（サービス付き高齢者向け住宅、ケアプランセンター、訪問看護ステーション、デイサービス）がスタートしました。

29 年度は光陽の 4 事業のご利用者様の更なる獲得に繋がる広報活動に取り組むと共に、「腎愛会」らしい介護事業として、事業内容の精査や職員の成長を促す取り組みを行ってまいります。医療と介護の連携を強化し、患者様・ご利用者様とその家族、地域の皆様のお役に立てる法人を目指します。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者様満足度の向上、ご利用者様とそのご家族の満足度向上は、働いている職員の満足度が高くなければ実現できません。

27 年度から新たに取り組んでいる「職員成長シート」を十分に活用することを、全部署の所属長が集う幹部会議を中心に、引き続き議論を続けています。

29 年 5 月には、これまで行っていた「職員満足度アンケート」を一新し、アンケート内容を分析、活かすことができるものへと変更する予定です。

研究・自己啓発活動について

組織再編により管理部門間での連携がとりやすくなったことで、これまで十分でなかったデータ分析、より細かな経営分析をより行いやすくなりました。根拠のある提案、提言が出来る体制が整いつつあります。29 年度は来る 30 年の医療・介護同時改定に向けて、いち早い情報収集と分析を行っていきます。

29 年 4 月には、それぞれの専門知識や技術の習得ならびに資格取得を推進するため、職能手当の見直しを行います。これにより目指すべきものが明確になり、職員一人ひとりが成長できるような環境作りを行います。

地域活動について

腎愛会は今後も地域の皆様の「頼れるかかりつけ医」であり続けるために、毎年開催している「地域公開講座」「出前講座」を継続していきます。また一昨年まで行っておりました「健康まつり」については、光陽と含めた法人全体でのイベントを計画・実行いたします。

(14) 医事課

部門紹介

私たち医事課は、診療に関する事務的業務の役割を担っています。受付・一般外来・透析外来・入院の保険請求事務、各種書類の手続き、未収金管理、診療録管理に加えて、透析室・病棟でのクラーク業務を兼務しています。また、診療に関する集計業務・統計資料作成や施設基準等に係る手続き・実施報告も担当しています。他部署との連携を図りながら、医療サービスの提供に努めています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度は診療報酬改定もあり、フロアごとの勉強会を開催するなど、共通知識を持って 4 月からの請求事務に取り組みました。平成 28 年度は下肢末梢動脈疾患指導管理加算の施設基準を新規申請をしました。また、新設された点数においては、診療部への説明を行い理解を得た上で、要件を満たせば可能な限り算定へと導き、収入増に繋げていきました。

10 月からは、月 1 回のミーテイングで、診療報酬増減点通知の報告を行い、返戻・査定の原因追及により適正な請求方法を理解して査定減少に努めたり、業務内容の見直しを行うなど、共通理解や業務効率化に取り組みました。また、フロア別の体験業務を取り入れたことで、お互いの業務内容を理解するようになりました。

7 月には、女性職員の制服を 7 年ぶりに新調しイメージチェンジを図り、翌年 2 月にはしばらく在籍が無かった男性職員も入職し、新たな風も吹いています。　例年同様ではありますが、今年度は 7 月と 9 月の 2 回にわたり、専門学校からの病院受付実習生を受け入れ、医療事務職の仕事内容の理解や仕事への生き甲斐が見つけられるようにお手伝いでき、私たち自身も初心に帰ることができています。

平成 30 年度は、医療と介護の同時改定が行われ、大きな節目となる年度になります。平成 29 年度は、いち早く情報収集できるよう、重要情報に随時注目していきたいと思います。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

笑顔は、言葉を超えた最高のコミュニケーションツールとなることから、「明るい笑顔」をモットーに、話しかけやすい・相談しやすい受付対応に心掛けています。また、治療費や各種書類申請、福祉制度に関することなど、わかりやすく丁寧な説明を行っています。

電話応対では、日本電信電話ユーザ協会主催の「電話応対コンクール」に今年 2 名参加し、技術向上に努めています。

研究・自己啓発活動について

・保険請求、接遇等に関する各種院外研修へ参加しています。
・電話応対コンクール（テープ審査会）に参加しています。
・総務課と協同で、階層別に求められる役割を認識し、その能力を発揮できるようグループ別職員研修を開催しています。

地域活動について

・腎臓いきいき教室のメンバーに入っており、腎臓保存期の患者様のサポートを行っています。
・近隣の訪問看護ステーションより依頼を受け、医事課職員による外部接遇研修を実施しています。（28.6.17）

(15)総務課

部門紹介

総務課は秘書業務１名・庶務業務２名・薬剤科業務１名・育児休暇中１名の合計５名で構成されています。秘書業務は理事長秘書や医師の業者面会の調整、庶務業務は職員の入退職の準備・慶弔関係の庶務・朝礼や院内の行事などに関する業務、職員の出張費・研修費の手配等、薬剤科業務は薬剤の納品・管理等を行っています。患者様が安心して受診できるような環境づくりと、職員が安心して楽しく働ける環境を整えるために日々業務に臨んでいます。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度は、新たに秘書業務が加わり、理事長のスケジュール管理や、医師の業者面会の調整などを行っています。

職員が楽しく働ける環境を作るため、昨年度に引き続き職員講座を企画し、6 月に「霧島山荘に行こう！」、10 月に「妙円寺詣り」を開催しました。

また、霧島山荘の職員の貸し出し管理、施設課と協働で施設の清掃管理も行いました。

平成 29 年度は経営管理室から主任が異動になり、総務課に移行した業務がありますが、今までと同様、経営管理室と連携をとり、業務をスムーズに遂行できるように改善していきます。患者様や来客者に的確に対応できるよう、接遇マナーも強化していきます。また、うえやま腎クリニックや高齢者福祉複合施設光陽の総務業務も担当し、他の部署員の庶務業務の負担を軽減できるようにします。法人全体の行事・業務が円滑に進むように、部署間の連携をとっていきます。また、去年に引き続き職員に向けての職員講座を企画し、職員が働きやすい環境を作っていきます。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

患者様との接遇では挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかいに気をつけ、また職員に対しても好感のもてる接遇ができるよう、全職員の模範となるように心がけています。また、施設全体を管理し、患者様や来客が快適にお過ごしいただける様に掃除や点検を定期的に行っていきます。

研究・自己啓発活動について

28 年は院内研究に取り組み「職員の働く目的・モチベーション調査」の結果を発表しました。また、医事課と各部員のレベルアップのための目標を確認するために医事課と合同で階層別研修も行いました。本年度も仕事の目標をふまえた外部研修に参加し、個々のレベルアップを図っていきます。

地域活動について

法人や各部署の企画する活動に協力していきます。

(16)施設課

部門紹介

施設課は運転チーム 9 名、清掃チーム 6 名、保安業務 1 名及び運転業務委託 4 名の 20 名で構成しています。送迎用の車両はワゴンタイプ 5 台、軽自動車 1 台で運営しています。
送迎車 6 台・光陽車 3 台・多目的車 1 台の計 10 台の車両管理を行っています。

運転チームは、透析患者様の送迎を主な任務とし、鹿児島市内、吹上・伊集院方面の他、遠くは東市来・知覧・頴娃・川辺方面を送迎しています。また上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽・ユーエスケイ本部ビル・霧島山荘などの建物や駐車場の管理・緑化、設備機器全般の維持管理として、空調機のフィルター・換気扇の清掃、消防設備機器・車いすの点検や、防犯巡回等の業務を行っています

清掃チームは、上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽施設内の各フロアの床清掃・ゴミ回収・じゅうたん清掃・浴槽清掃の他、建物周りなど細部にわたり清掃業務を行っています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

1. 無事故・無違反を推進するため安全運転管理者を選任しています。
2. 運転技能研修では、他の職員に同乗してもらい乗り心地や運転操作などについて意見をもらい、運転技能向上の取り組みを行いました。
3. 月に 1 度、乗降介助研修や勉強会を開催し、送迎運転の安全性向上に努めています。
4. 車両事故・故障を事前に防ぐ為、始業前点検・日常点検・週点検・月点検を確実に行いました。
5. 他部署との連携を密に取り業務改善に繋げています。
6. これらの取り組みから、患者様に安全で安心なやさしい送迎業務を今後も実践します。
7. 施設管理業務に力をいれ、建物及び設備の状態維持及び改善ができる様、日々の管理・点検を行っています。

清掃チームは、清掃業務の標準化を図る目標をたて、清掃業務の基本や清掃用具の取り扱いについて研修を行い、清掃技術のレベルアップに努めました。平成 29 年度も清掃研修・　ラウンドを通じ清潔で綺麗な病院清掃、安全な清掃作業を行います。
施設外職員駐車場周りの美化活動や施設内外の緑化活動を施設課全体で行っています。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

運転チームでは、患者送迎の目標である「交通ルールを厳守し、地域の模範となる人に優しい送迎サービス」を目指し、安全運転管理者を中心に「無事故・無違反」を実践していきます。

各施設内外の清掃では、施設課スタッフ全員で、清潔で快適な施設環境を整え、患者様はじめ来院される方々が、気持ち良く施設をご利用頂けるように取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

1. 院内研修に積極的に参加し、腎愛会の医療・接遇・マナーについて知識を広げていきます。
2. 安全で安心な送迎業務を行うため外部研修（福祉車両運転者講習）を運転チーム全員が取得し、車両事故・転倒事故の防止に努めます。
3. 清掃技能研修（ＤＶＤ研修など）を定期的に行い、清掃技術を高めます。

地域活動について

患者様との懇親会に積極的に参加し、親睦を深めています。また美化活動として、病院周りだけではなく、職員駐車場付近まで範囲を拡げ美化活動しています。

(17) うえやま腎クリニック

部門紹介

うえやま腎クリニックは、外来診療と透析治療を行っています。透析室はベッド数 40 床で ADL の自立している方が 70%を占めていましたが、その割合が減少しつつあり、透析治療を受ける患者様の生活背景も大きく変化してきています。透析患者様本人だけでなくご家族や関係する施設との連携が重要となってきており、情報交換の一つとして連絡ノート等を活用し共有しています。一人暮らしの患者様、ご家族の協力が得にくい患者様などの生活背景を知り、個別的な看護、生活支援、社会資源の導入などを考え、他介護関連事業者、地域連携室と連携し患者様・ご家族を支えられるよう取り組んでいます。

外来では、生活習慣病や季節性の感染症などの治療を通して、地域のかかりつけ医として親しまれています。

看護スタッフは、子育て中のスタッフから定年を迎えたスタッフまでおり、チームの和を大切に、お互いに支えあえる職場環境を目指しています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

１．入室時間の検討

平成 28 年 4 月より 3 つのグループに分け、入室時間を決め制限することで、穿刺時間までの待ち時間の短縮、スタッフのストレス軽減につながっています。

２．災害時の取り組み

平成 29 年 3 月より災害時の心備え（透析治療中）として、透析医学会や全国腎臓病協議会の災害対策としての取り組みであるベッド柵の設置を掲示し、その必要性を一人一人説明し理解と協力をいただき、4 月より全 40 台にベッド柵の設置を行いました。患者様に、より安全で安心な透析治療と、よりよい治療環境が提供できるよう、スタッフ一丸となり取り組んで行きたいと思います。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

看護の質向上を目指し安心・安全・思いやりのある看護が提供できるよう職場環境の改善に努めています。また、「患者満足度調査」のアンケート結果より穿刺時間に対して不満の声が多く再度業務手順、タイムスケジュールの調整を行っています。

エコー下穿刺は、看護師 2 名修得していますが、穿刺トラブルにも対応できるようにさらなる技術向上に努めていきたいと思います。今後さらに働きやすい環境を整えることで、患者様にとっても安心できる治療環境作りに取り組でいきたいと思います。

研究・自己啓発活動について

平成 28 年 9 月に行われた院内研究発表で「腎クリニックによる掻痒軽減のための取り組み」をテーマに発表しました。

平成 28 年 10 月に「特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者」1 名資格取得しています。また透析技術認定士に 1 名が挑戦しています。

地域活動について

正面玄関の街灯を 22：00 まで点灯するよう調整し、地域の防犯対策に協力しています。

腎臓いきいき教室の外来にポスター掲示し CKD 予防を地域に向けて発信しています。

(18)法人本部 経営管理室

部門紹介

経営管理室は、現在は常勤 4 名、事務補助パート職員 1 名体制で、日々の業務にあたっています。主な業務として、①人事・給与業務、②経理・財務業務、③広報・院内研修・各種研修や会議の取りまとめ、情報システム機器や院内設備のハード・ソフト面の導入支援・運用管理、ネットワークセキュリティ対策を担当する企画業務の 3 つがあり、それ以外に法人全体に関わる行事・イベントの企画・運営も担っております。

平成 29 年度は「高齢者福祉複合施設 光陽」の新設により、医療・介護の連携がスムーズに行えるように、一人ひとりが幅広い対応を心掛けていきます。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

① 人事・給与：平成 28 年度は、前年度に作成された当法人独自の職員シートの運用が 2 年目を迎えました。前年度の反省を元に評価グループや評価方法の見直しを行い、より公平に多面的に評価できるよう改善しました。評価も 2 年目を迎え、評価基準や視点のすり合わせ、フィードバック時の面談方法など新たな課題も見えてきました。

前年度の結果に基づいた評価の処遇反映も夏季賞与にて実施され、職員のモチベーション向上につながっていると思われます。平成 29 年度も福利厚生の充実策と合わせて、外部専門業者による職員満足度アンケートの実施、その分析結果による役職者のワークショップを予定しており、より具体的な労働環境の改善ポイントを探り、より働きやすい環境の実現を目指します。

② 経理・財務：平成 28 年度は、「高齢者福祉複合施設 光陽」の新設に伴い、医療・介護別月次報告資料の作成を行いました。介護事業においては比較データがないので、今後はデータの蓄積に力を入れていきます。平成 29 年度は医療・介護の融合により安定した経営体質を構築できるよう、財務面でのバックアップをすすめていきます。

③ 企画：平成 28 年度は「高齢者福祉複合施設 光陽」の新設に伴いホームページとパンフレットのリニューアルを行いました。また、すべての施設に入館システムを導入し、入退室のセキュリティにも力を入れました。平成 29 年度は、ホームページの更新頻度を増やし更なる内容の充実を図っていきます。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

患者様満足度の向上には職員満足度の向上が不可欠と考え、福利厚生充実への取り組みと共に平成 26 年度に引き続き、平成 28 年度にも全職員を対象にした職員満足度調査を実施しました。調査結果を基に、職員のモチベーション向上に繋がる企画立案・実行に取り組みます。

研究・自己啓発活動について

法人の適正運営に必要な、人事労務に関する関連法規、人事制度、経理・財務、ネットワーク関連の研修に参加し、各自が担っている専門領域の知識を深めました。また平成 28 年度より事務系役職者への勉強会を開催し、法人に貢献できるよう自己研鑽に取り組んでいます。

地域活動について

法人の企画するイベントや地域活動に積極的に参加して、交流を深めます。

(19) サービス付き高齢者向け住宅　光陽

部門紹介

サービス付き高齢者向け住宅は、60 歳以上の方・要支援・要介護認定を受けている 60 歳未満の方が入居できる施設です。スタッフは現在介護福祉士が 8 名在籍しています。内、兼務で社会福祉士が 2 名、作業療法士が 1 名です。居室はご夫婦部屋が４室、お一人部屋で 26 室、合計 30 室あります。平成 29 年 3 月末時点では 12 名の方が入居されています。

今後ますます高齢化社会が進んでいく中で、地域の皆様に親しんでいただき、そして快適な生活のできる施設環境を整えていきます。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度

1 月にオープンして入居者の方も徐々に増えてきている状況です。入居者の方からのヒアリングなどを通して、安心して生活できる環境づくりを進めています。今後は、職員間の連携強化と入居者とのコミュニケーション強化を図っていきます。

平成 29 年度

入居率を高める為に、地域包括支援センターや医療機関、居宅介護事業所、地域連携室等との連携を強化して知名度アップに努めていきます。

また、入居された方々の生活環境を過ごしやすくする為に、各季節に応じたイベントを開催して、和みと癒しのある施設づくりを進めていきます。

また、訪問看護ステーション、ケアプランセンター、デイサービス間の連携強化を図り、相互利用の比率を高め、入居者の利便性向上に努めます。さらに、入居者個々の体調管理を十分考慮した見守り体制を確立していきます。

信頼され選ばれる施設を目指して～ご利用者様満足度向上の取り組み～

入居者間のコミュニケーションの場を提供していきます。また、入居者との生活相談を行ない、信頼関係の構築を図っていきます。

また、デイサービスご利用者との触れ合いも大切にして交流促進を図り、笑顔あふれる空間づくりを進めていきます。

研究・自己啓発活動について

安心・安全に過ごせる施設づくりを推進していきます。消防訓練や非常災害対策の訓練をおこない、職員間の相互協力体制を構築していきます。また、車椅子や歩行器などをご利用の方へのサポート業務の徹底と、訓練指導を行っていきます。

地域活動について

認知度アップのために、地域のヘルパーステーションや居宅介護事業所等への情報公開、また町内会へのチラシ案内や広報活動を行っていきます。

(20) 訪問看護ステーション光陽

部門紹介

平成 29 年 1 月、高齢者福祉複合施設「光陽」の 1 階事務所に訪問看護ステーション光陽がオープンしました。常勤 3 名と腎愛会の他部署の看護師 2 名が兼務で在籍しています。2 月にステーションとしての認可を受け、4 月からは 24 時間対応も行います。まだオープンしたばかりで利用者も少なく、体制作りと実務研修、請求業務の学習等に多くの時間を割いていますが、利用される患者様やそのご家族にとって安心して療養生活を送るための力強いサポーターになれるよう、スタッフ一丸となり心を込めて訪問看護を行っていこうと考えています。主治医やケアマネ、他のサービス機関と連携し、必要な看護を提供できるスキルを身につけ、地域に密着したステーション運営を目指します。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

① 「訪問看護ステーションわきだ」へ実務研修（平成 29 年 1 月に 2 名）
② 契約書の作成と訪問看護ステーション指定等に関する各種書類の届出
③ パンフレット作製と広報活動
（居宅支援事業所：60　在宅医：3 か所　地域包括支援センター：1 か所）
④ 24 時間連絡体制から 24 時間対応体制への転換（平成 29 年 4 月～）
⑤ 訪問看護ステーションマニュアル作成と整備
⑥ 部署内勉強会の実施（12 項目）と介護ソフト使用方法の学習
⑦ 請求業務に関する学習と実施
⑧ 訪問看護の実務（平成 29 年 2 月～）

【実績】

	新規	備考
平成 29 年 2 月	1 名（介護保険）	
平成 29 年 3 月	2 名（介護保険・医療保険）	※退院後 2 週間特別指示

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

地域医療に貢献する病院の方針として、在宅医療・介護の充実が加わり、高齢化社会に向けて訪問看護の果たす役割・重要性を痛感しています。当院の腎専門病院の特性を活かしつつ、在宅で療養されている様々な方々の看護が安心・安全に行えるよう体制作りに努めていきます。

研究・自己啓発活動について

部署内勉強会を定期的に開催するとともに、外部研修、訪問看護ステーション連絡協議会に参加し訪問看護師としてのスキルアップに努めました。(緩和ケア地域連携会議・喀痰吸引等の指導者講習・糖尿病地域連携セミナー・慢性期療養型施設合同研修会など）今後も積極的に学ぶ機会を設け、自己研鑽していきたいと考えています。

地域活動について

オープンしたばかりで、地域活動の実績はありませんが、今後法人内の活動に参加し、地域の人々との交流を深めていきたいと考えています。

(21) ケアプランセンター光陽

部門紹介

ケアプランセンター光陽は、平成 28 年 11 月 15 日に法人本部ビル内に開設し、29 年 1 月に光陽 1 階に移動しました。ケアマネージャーとして、一人体制で業務にあたっています。昨年はスタートしたばかりで、なかなか思うような動きが出来ませんでしたが、新施設に移ってからは徐々にご利用者数も増えてきております。今後も、上山病院の地域連携室や関係機関と連携をとり、ご利用者にご満足いただけるプラン作りに努めていきます。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

平成 28 年度はスタートして 1 ヶ月後から 2 名の方にご利用をいただき、3 月末では 8 名の利用実績がありました。始めは、光陽のデイサービス光陽の利用に繋がる方が多くありませんでしたが、上山病院からの紹介や、入居者の方など少しずつ増えてきました。

平成 29 年度はご利用者も現在 12 名おられ、今後も増えていく見込みです。また、ご利用者の意向に沿った居宅サービス計画書を作成し、関連事業所と密な連携を取り相談援助や手続きなどを行っていきます。上山病院から紹介された透析患者様もおられ、体調の状態に応じた適切なプランの作成を行ないます。

信頼され選ばれる施設を目指して～ご利用者様満足度向上の取り組み～

個々に応じた居宅サービス計画を作成して、利用者本位に応じているかの検証や見直しなど適宜行い、利用者が自立した生活を送れるようにサポートしていきます。

また、訪問も計画的に実施することにより、家族の方と連絡を密に取り、状況把握に努め体調の変化に応じた提案を行っていきます。さらに、関連事業所とは必要な装備品の相談等を行ない、連携を図っていきます。

研究・自己啓発活動について

入居者と外部利用者との区別を自覚して、個々に応じたプランの基本計画を行なうためにも、外部研修に参加して知識の習得に努めます。また、介護保険の手続きや該当内容を決定するため、関係機関の情報収集を行っていきます。

地域活動について

地域連携室との連絡や、周辺地域の関連施設や病院などへの働きかけを行ない、ケアプランセンター光陽としての位置づけを確固たるものとしていきます。

(22) デイサービス光陽

部門紹介

デイサービスとは要介護・要支援認定を受けられた方を対象に、入浴や食事、レクリエーション活動等の各種サービスを提供する介護保険サービスの一つです。

デイサービス光陽では、「その人らしさ」「個別性」を大切にして、やりたいこと、過ごし方を選択できるケアを目指します。

現在、生活相談員 4 名、介護スタッフ 3 名、作業療法士 1 名（兼務含め）体制となっております。

少しずつご利用者も増え、現在、12 名の方が登録されています。

平成 28 年度および平成 29 年度の取り組み

サービス付き高齢者向け住宅からのご利用者やケアプランセンターからのご利用者も少しずつ増え、介護保険サービスとして他の部門との繋がりも見え始めています。

今後も増えていく見込みではありますが、要支援のご利用者が増え、要介護のご利用者は現在では少ない状況です。

信頼され選ばれる施設を目指して～ご利用者様満足度向上の取り組み～

一人ひとりに応じた小集団での活動を行い、地域での活動も増やしていく予定です。

光陽のご利用者が地域の中で自分らしい生活が送れるよう支援してまいります。

研究・自己啓発活動について

法人内での研修はもちろん、他法人との横のつながりも大切にし合同での勉強会や事例検討会などの交流を定期的に行い、個人としてのスキルアップとチームとしての向上も図っていきます。

地域活動について

毎月の誕生会に病院や地域の方にも告知を行い、光陽内での交流が図れるようにつとめます。

半年に 1 回でも少しづつ地域に向けて運営推進会議を行い、連携先ケアマネ・民生委員・町内住民の方・ご家族・入居者・ご利用者など光陽内外にオープンな環境づくりを行っていきます。

また、自分たちも町内のイベントへの参加やまた継続して行える地域活動など（ゴミ拾いなど）の実施について町内の方と話をしながら対応可能な範囲を模索していきます。

6 研究実績

(1)発表

年月日	演題	発表者	学会名	会場名
平成28年6月 9～12日	ダイアライザへアミノ酸は吸着されているか ～SinglePoolモデルにおけるin Vitro実験～	柿ノ谷	日本透析医学会	リーガロイヤルNCB （大阪）
平成28年6月 10～12日	フットケアへの取り組み ～フットチェックシートを見直して～	安永	日本透析医学会	リーガロイヤル ホテル（大阪）
平成28年9月 17～18日	当院のエコーガイド穿刺業務の現状	柿ノ谷	鹿児島県臨床工学研究会	大隅鹿屋病院

(2)座長

年月日	演題名	氏名	学会名	会場名
平成28年5月12日	CKDトータルマネージメント ～保存期から透析導入期まで～	上山達典	鹿児島県透析医療従事者 セミナー2016	城山観光ホテル
平成28年5月26日	薬剤性消化管粘膜障害 ～特にNSAIDs起因性病変について～	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	ホテルセントコスモ楠I
平成28年6月14日	パネルディスカッション	上山達典	霧島･姶良肝腎医療連携セミナー ～特殊症例における Ｃ型肝炎根絶に向けて～	ホテル京セラ
平成28年7月22日	慢性腎臓病に対する新たなる降圧治療戦略 ～ARBの腎保護効果と降圧効果を再考する～	上山達典	実地医家のための学術 講演会～鹿児島夏の腎～	鹿児島県医師会館
平成28年7月28日	虚弱高齢腎不全患者のマネジメントを考える	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山観光ホテル
平成28年10月29日	ランチョンセミナー	嘉川亜希子	第14回性差医療情報 ネットワーク（NAHW） 研究会総会	熊本市医師会館
平成28年11月24日	透析患者のフットケア	上山達典	鹿児島透析合併症 対策講演会2016	東急ＲＥＩホテル
平成28年12月3日	男女共同参画講演「辞めない女医さんの作り方」	嘉川亜希子	第121回日本循環器学会 九州地方会	鹿児島市民文化 ホール
平成29年2月16日	高齢透析患者における現状と課題 -終末期医療を含めて-	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	鹿児島サンロイヤル ホテル
平成29年2月21日	熊本地震報告	上山達典	鹿児島県透析医会 学術講演会	城山観光ホテル
平成29年2月23日	高リン血症治療の課題と対峙する -新規高リン血症治療薬への期待-	上山達典	スクロオキシン水酸化鉄 発売1周年記念講演会	城山観光ホテル

(3)院内講演会

年月日	演題名	講師
平成28年7月14日	高リン血症の悪夢	上山達典

(4)講師

年月日	演題名	氏名	主催	会場名
平成28年5月14日	震災に影響される循環器疾患	嘉川亜希子	第6回性差医療情報ネットワーク（NAHW）九州支部セミナー	熊本市医師会館
平成28年11月8日	「更年期以降に増える女性の心疾患」	嘉川亜希子	女性のための女性によるヘルスケア検討会	城山観光ホテル
平成28年9月27日	循環器領域における性差医療	嘉川亜希子	県立福島医大臨床講義	県立福島医科大学

(5)院内研究発表会（平成28年9月1日）

	演題名	発表者
1	患者別移乗マニュアルの作成 ～表皮剥離の減少を目指して～	病棟ケアスタッフ ○永井
2	血液透析導入期患者指導の効果 ～指導パンフレット活用後の実態調査からみえたこと～	病棟看護師 ○中村
3	透析室看護師のストレス実態調査と現状把握 ～業務改善を考える～	2階透析室 ○山下
4	穿刺針の違いによる至適血流量の検証	臨床工学科 ○仕田
5	PTAにおける被曝線量の検討	検査科　放射線チーム ○當房
6	職員の働く目的　モチベーション調査	総務課 ○石井

7　院内研修開催実績

（1）法定研修

日 時	テーマ	講 師	主 催	参加人数
9月8日 9月27日	災害に立ち向かう ～透析施設の災害対策とネットワーク～	臨床工学科　有馬	医療安全委員会	130名
	手洗について	病棟　濵﨑	感染対策委員会	
	医薬品安全使用研修	薬剤科　高山	薬剤科	
2月28日 3月9日	災害時の対応について	臨床工学科　有馬	医療安全委員会	164名

（2）教育委員会主催

日　時	テーマ	講　師	参加人数
4月7日	体験からの学び	奥園 野下 岩崎 本木下 前野 有田 田中	75名
7月14日	高リン血症の悪夢	上山病院　理事長 上山達典	70名
12月22日	高齢者福祉複合施設「光陽」	開設準備室　石川	48名

（3）看護部研修

日　時	内　容	講　師	参加人数
10月19日	ナラティブレポートの書き方 「ラダー取得を目指して」	クリニック師長代理　板敷	13名
2月11日	器官内挿管介助の演習	看護師　安永	5名

（4）ケアスタッフ研修

日　時	内　容	講　師	参加人数
8月28日	緊急時に備えた準備	看護部教育師長 三原	7名
10月12日	介助方法について	理学療法士　前野	4名

（6）新入職者研修

日　時	テーマ	講　師	参加人数
4月5日、6日	新入職者研修	各部署・委員会	7名
4月9日、10日	霧島宿泊新人研修	各部署・委員会	8名
5月17日、18日	中途採用者研修	各部署・委員会	2名
6月21日、22日	中途採用者研修	各部署・委員会	2名
8月2日、3日	中途採用者研修	各部署・委員会	4名
10月11日、12日	中途採用者研修	各部署・委員会	3名
12月6日、7日、14日	中途採用者研修	各部署・委員会	7名
2月14日、15日	中途採用者研修	各部署・委員会	5名

（7）薬剤科勉強会

日　時	内　容	講　師	参加人数
4月25日	タケキャブ錠勉強会	武田薬品工業株式会社	9名
5月30日	ジェニナック錠勉強会	大正富山医薬品株式会社	11名
7月25日	トピロリック勉強会	ファイザー株式会社	9名
8月29日	テネリア錠、カナグル錠　勉強会	田辺三菱製薬	13名
9月26日	オルメテック錠勉強会	第一三共株式会社	11名
10月31日	ライゾデグ勉強会	ノボ ノルディスクファーマ株式会社	11名
11月28日	モーラスハップXR・ノルスパンテープ勉強会	久光製薬株式会社	13名
12月6日	ルコナック爪外用液勉強会	株式会社ポーラファルマ	15名
1月30日	パーサビブ静注透析用勉強会	小野薬品工業株式会社	12名
2月27日	リオナ錠勉強会	鳥居薬品株式会社	14名
3月27日	マリゼブ錠勉強会	MSD株式会社	14名

（8）その他の研修

日 時	テーマ	講 師	参加人数
7月8日	透析機器安全管理勉強会	道下　優一　先生	9名
11月14日	病院･委員･施設でのマナーと言葉遣い ～イメージとグレードを上げるために～	山野　真理　先生	54名

（9）職員講座

日　時	内　容	講　師
10月23日	歩こう！妙円寺参り～秋の風を感じて～	総務課

（10）説明会

日 時	テーマ	講 師
8月23日・24日	訪　問　看　護　研　修　報　告	うえやま腎クリニック 師長 花薗 上山病院 外来　今村
2月20日・21日	防犯対策（電子錠・非常通報システム）説明会	経営管理室　山岡

8　1年間の主な出来事

4月1日	開院記念式
4月5～6日	新入職員研修
4月9～10日	霧島山荘　新人研修
5月14日	日本透析医会理事会
6月10～12日	日本透析医学会
7月14日	理事長講話
7月28日	鹿児島県透析医会総会・学術講演会
7月31日	九州CAPD検討会
8月20日	ターザン会
8月27日	維持透析患者の補完・代替医療研究会　九州支部会
9月1日	第15回院内研究発表会
9月11日	日本統合医療学会九州支部会
10月18日	第4回理事長杯ボウリング大会
12月3日	腎愛会・ユーエスケイ企画忘年会
9月1日	日本透析医会災害時情報伝達訓練
1月4日	年始式
1月17日	サービス付き高齢者向け住宅　光陽　入居開始
1月21日	高齢者福祉複合施設「光陽」落成式
2月21日	鹿児島県透析医会学術講演会
2月23日	葉月会（職員互助会）総会
2月26日	CKD啓発イベント「世界腎臓デーinかごしま」
3月26日	第50回USリーナル会（ゴルフ）
3月31日	期末実地棚卸

開院記念式

年始式

高齢者福祉複合施設「光陽」

9　医療機器

ＣＴ

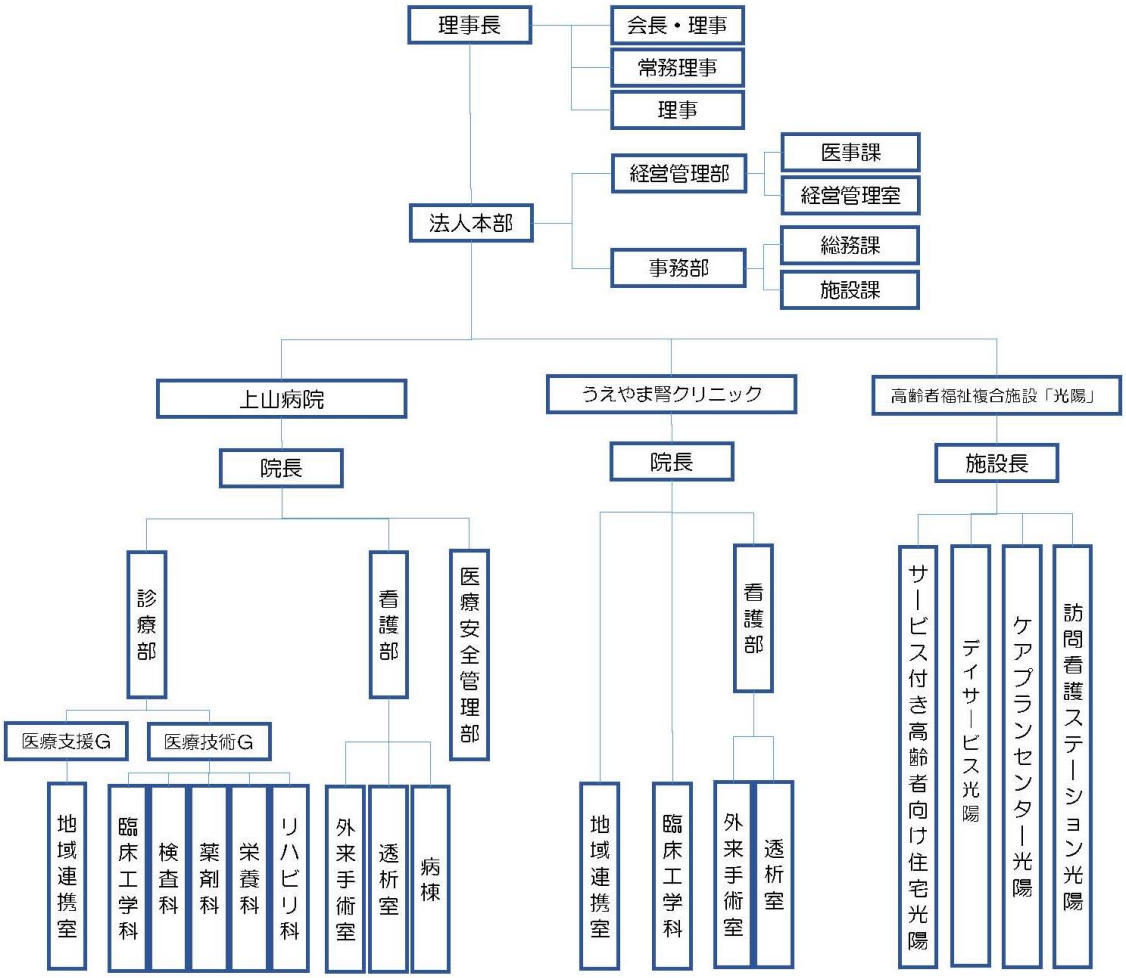
超音波断層装置

透析監視装置

【その他】

電気ﾒｽ
手術台
患者監視装置ﾍﾞｯﾄﾞｻｲﾄﾞﾓﾆﾀｰ
ｾﾝﾄﾗﾙﾓﾆﾀｰ
ﾊﾟﾙｽｵｷｼﾒｰﾀ
聴力計ｵｰｼﾞｵﾒｰﾀ
ﾏｲｸﾛｽﾓｰｶｰﾗｲｻﾞｰ
長時間用心電用ﾃﾞｰﾀｰﾃﾞｺｰﾀﾞ
顕微鏡
心電計
血圧脈波検査装置
超音波診断装置
（腹部･心臓･頚部･血管）
吸引機
自動血球計数測定装置
生化学自動分析装置
ｴﾝﾄﾞﾄｷｼﾝ測定装置
純水装置（ｵﾙｶﾞﾉﾋﾟｭｱﾗｲﾄ）
電解質分析装置
逆浸透水処理装置
多人数用透析液供給装置
多人数用透析監視装置
個人用透析装置
個人用逆浸透水処理装置
自動溶解装置
透析液ｸﾘｰﾝ化ﾕﾆｯﾄ
浸透圧分析装置
血圧監視装置
患者監視装置
滅菌ﾊﾟｯｸｼｰﾗｰ
高圧蒸気滅菌器ｻｰﾎﾞｸﾚｰﾌﾞ
ｶﾞｽ滅菌器ｹｽﾐｸﾚｰﾌﾞ
超音波式ﾈﾌﾞﾗｲｻﾞｰ
除細動器
ＡＥＤ
錠剤自動供給装置
X線一般撮影装置
X線CT装置
CR装置
電子ﾎﾟｹｯﾄ線量計
X線ﾃﾚﾋﾞ装置
凝固測定用経過時間ﾀｲﾏｰ
外科用Cｱｰﾑ

10　組織図

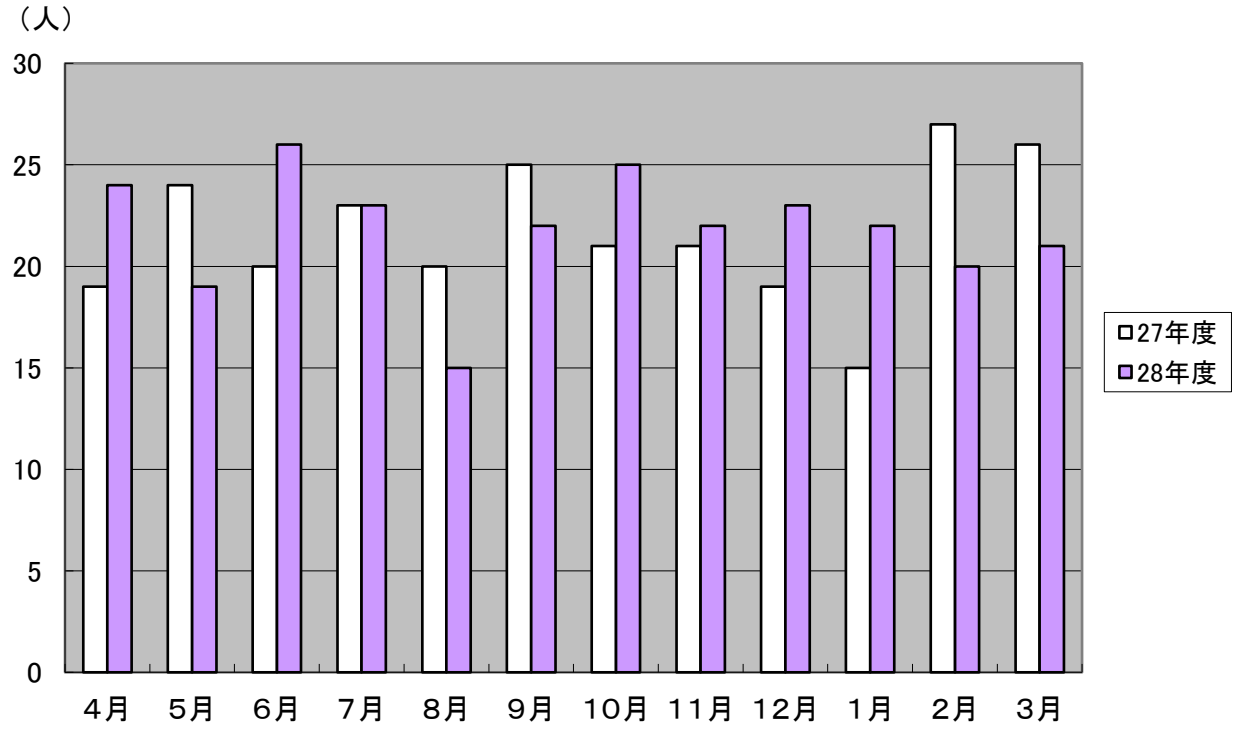

理事長
会長・理事
常務理事
理事
法人本部
経営管理部
医事課
経営管理室
事務部
総務課
施設課
上山病院
院長
診療部
医療支援G
医療技術G
地域連携室
臨床工学科
検査科
薬剤科
栄養科
リハビリ科
看護部
外来手術室
透析室
病棟
医療安全管理部
うえやま腎クリニック
院長
地域連携室
臨床工学科
看護部
外来手術室
透析室
高齢者福祉複合施設「光陽」
施設長
サービス付き高齢者向け住宅光陽
デイサービス光陽
ケアプランセンター光陽
訪問看護ステーション光陽

11　委員会活動

名称	内　訳	開催頻度	人数	委員会の活動内容
医療安全管理委員会		年 2 回	7 名	医療安全管理のための統括調整機能を果たす委員会。 医療安全管理のための組織に包括される各委員会の代表者と医療安全管理者から構成される。
第1委員会	医療安全	月 1 回	31 名	ヒヤリハット報告書の収集分析等を通して、医療事故の防止、安全かつ適切な医療の供給体制の確立を目的として活動する。
	医療事故		31 名	医療事故・医事紛争の予防対策の検討や医療事故発生時の原因究明・改善策の提案など、医事紛争を解決するための活動を行う。
	倫　理	隔月 1 回	8 名	倫理的諸問題を解決するための活動を行う。
第2委員会	感染対策	月 1 回	34 名	院内感染の予防対策や知識の啓蒙を図り、感染の発生防止体制の確立を目的として活動する。
	輸血療法			血液製剤の安全供給かつ適切な使用の実践が行われるための活動を行う。
第3委員会	安全衛生管理	月 1 回	29 名	職場の安全管理や職員の衛生管理を行う。
	医療ガス			医療用ガス及びその供給設備についての安全管理を行う。
第4委員会	褥瘡対策	月 1 回	25 名	入院患者様の褥瘡発生を防止し、発生した場合に適切な治療を行うための活動を行う。
	給　食			給食業務に関する連絡調整を行うと同時に、おいしい食事提供のために検食を行い、栄養士に意見を伝え、改善に努めることを目的とする。
第5委員会	薬事委員会	月 1 回	11 名	医薬品の適正使用及び管理や新規医薬品の採用の決定を行う。
第6委員会	透析機器安全管理	月 1 回	10 名	透析液の水質管理を行い、安全な透析を行うための活動を行う。
第7委員会	教　育	月 1 回	33 名	職員に対する院内教育についての企画・総括・調整を行います。また、年に1回、院内研究発表会を開催する。
	接遇マナー			外部講師による指導も受けながら、接遇向上のための活動を行う。委員は、学んだことを職場に持ち帰って、職員に実践してもらう役目を担う。

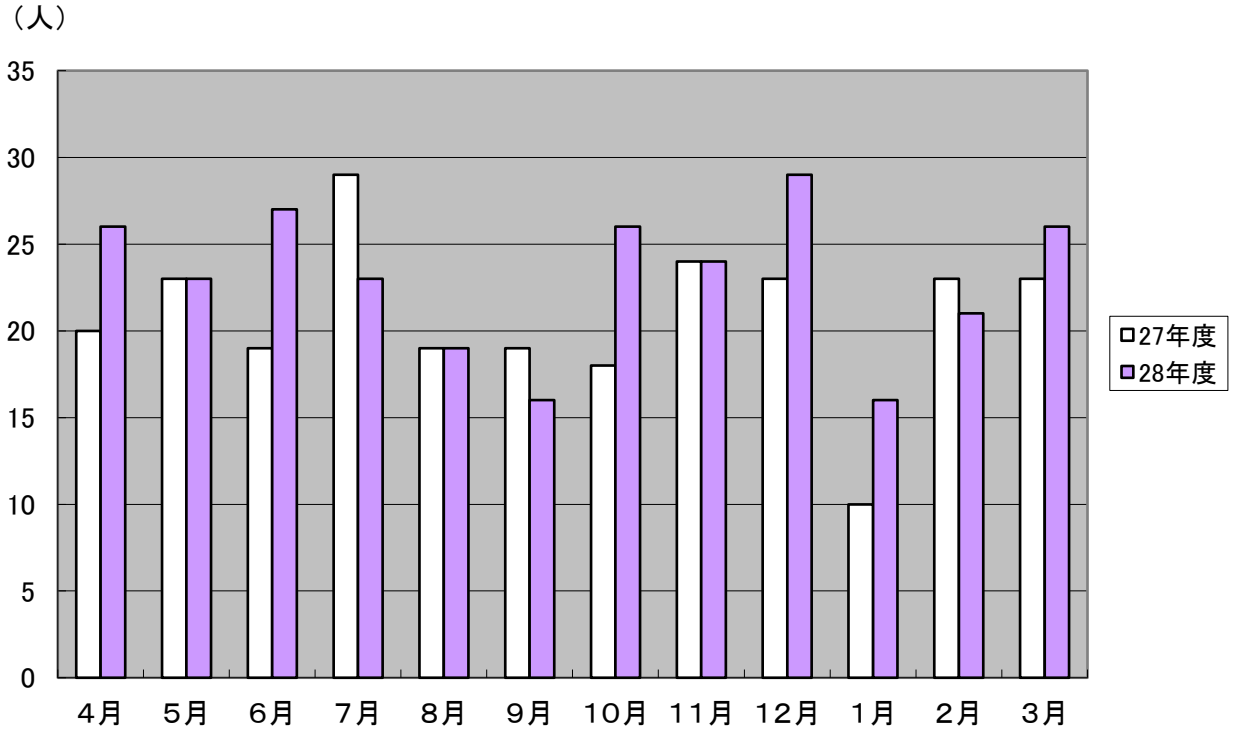
12　統計　(1)患者データ【上山病院】

①新入院患者数



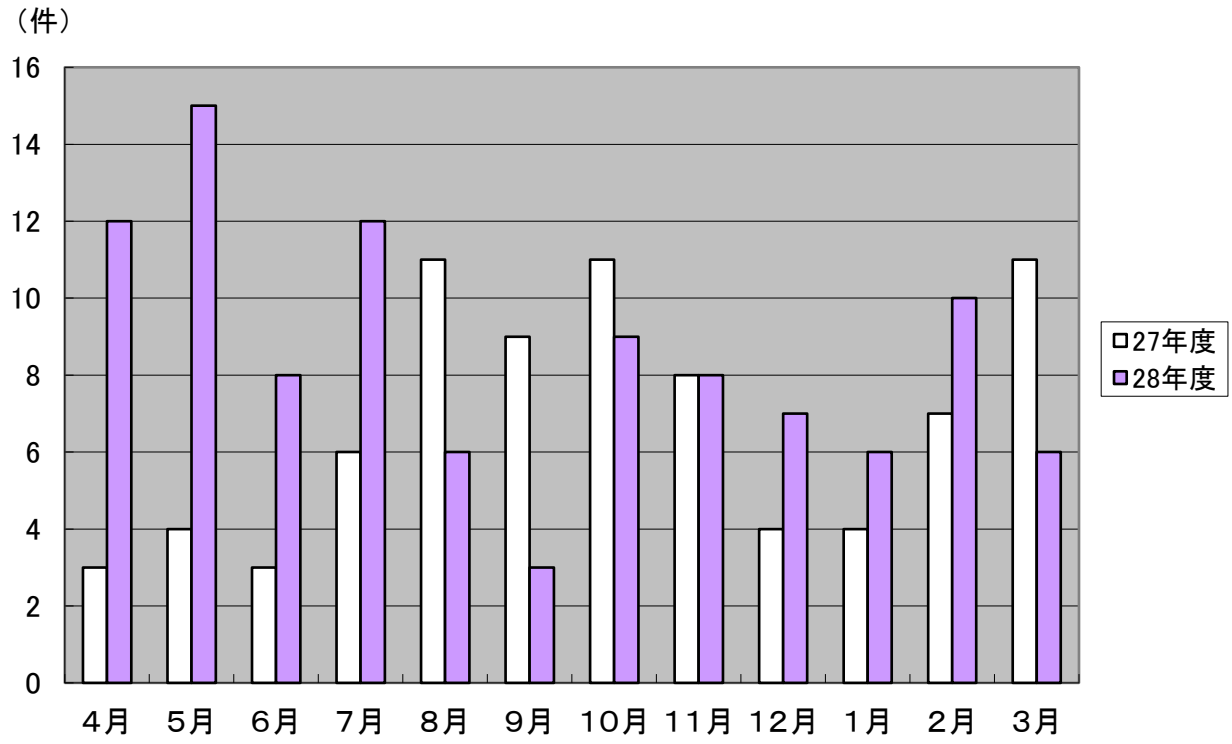
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	19	24	20	23	20	25	21	21	19	15	27	26	260
28年度	24	19	26	23	15	22	25	22	23	22	20	21	262

②退院患者数



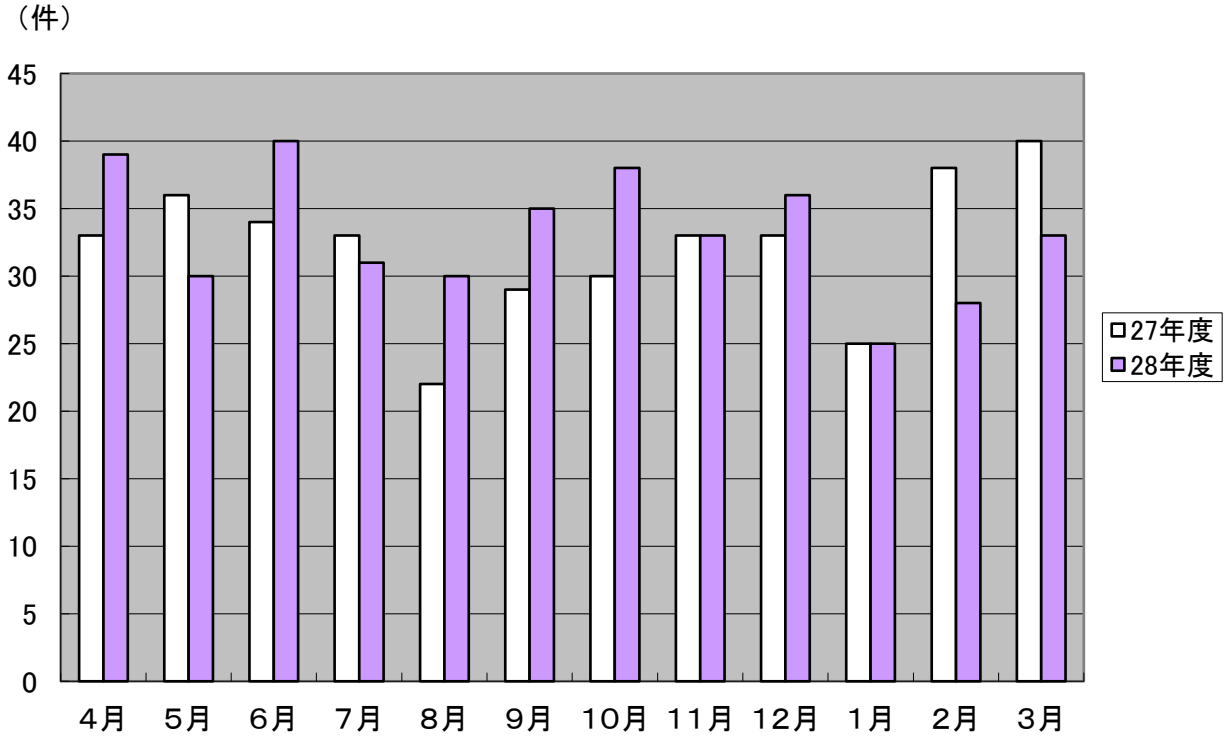
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	20	23	19	29	19	19	18	24	23	10	23	23	250
28年度	26	23	27	23	19	16	26	24	29	16	21	26	276

③ 入院患者件数（一般）



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	3	4	3	6	11	9	11	8	4	4	7	11	81
28年度	12	15	8	12	6	3	9	8	7	6	10	6	102

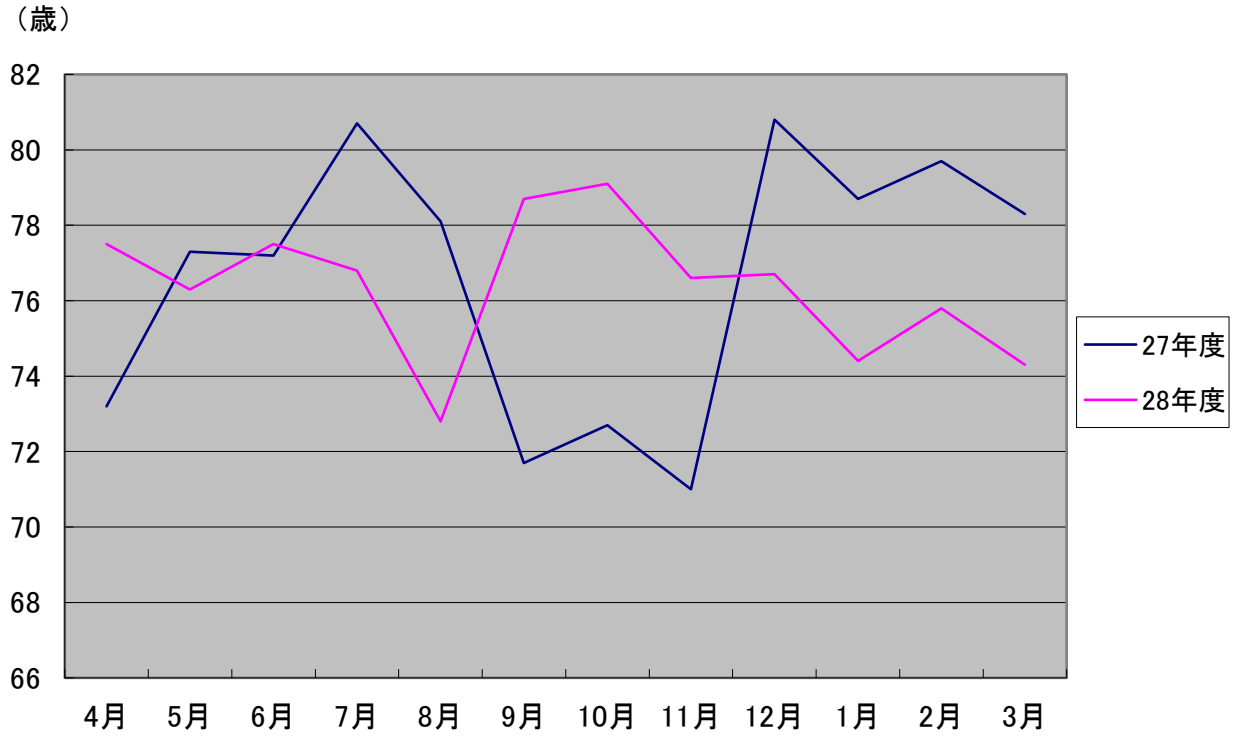
④ 入院患者件数（透析）



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	33	36	34	33	22	29	30	33	33	25	38	40	386
28年度	39	30	40	31	30	35	38	33	36	25	28	33	398

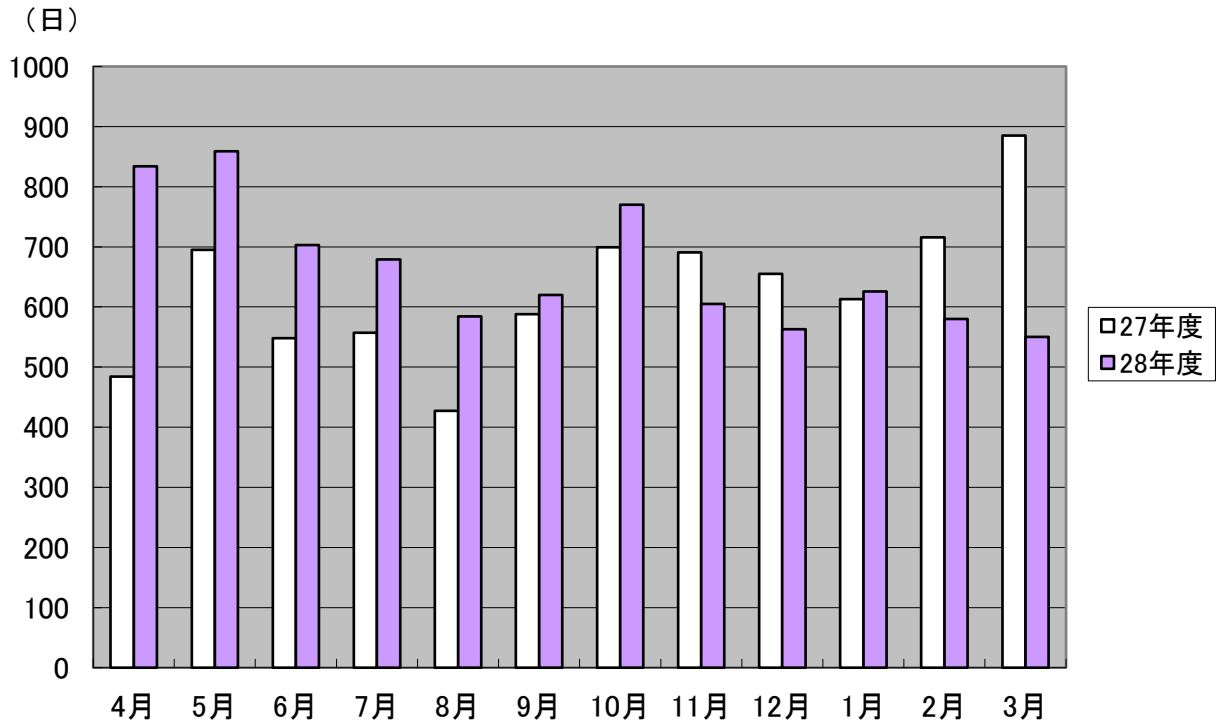
【上山病院】

⑤入院患者平均年齢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	73.2	77.3	77.2	80.7	78.1	71.7	72.7	71	80.8	78.7	79.7	78.3	76.6
28年度	77.5	76.3	77.5	76.8	72.8	78.7	79.1	76.6	76.7	74.4	75.8	74.3	76.4

⑥入院日数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
27年度	484	695	548	557	427	588	699	691	655	613	716	885	629.8
28年度	834	859	703	679	584	620	770	605	563	626	580	550	664.4

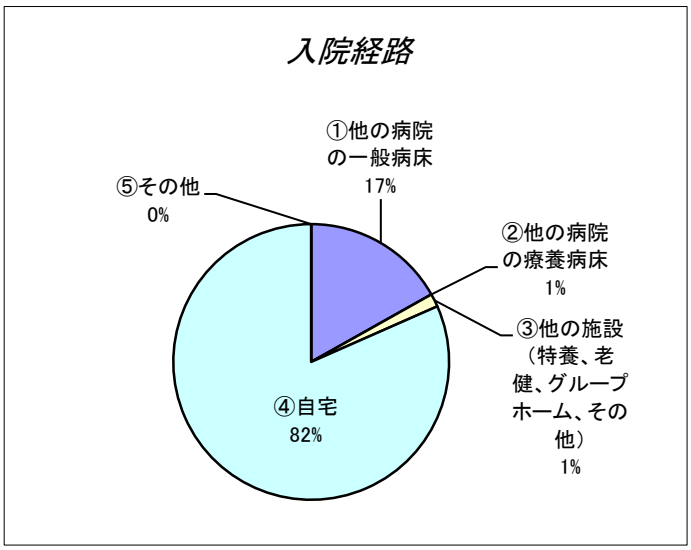
⑦入・退院患者経路

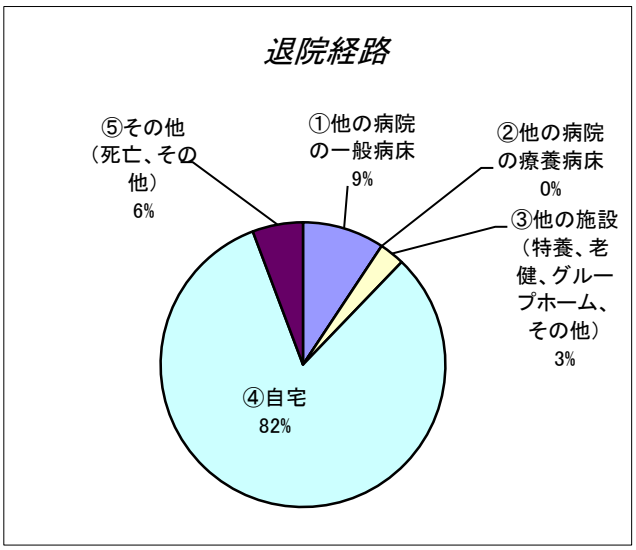
１．入院経路（入院前の居場所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	3	3	6	2	1	3	4	3	5	4	8	2	44
②他の病院の療養病床													0
③他の施設（特養、老健、グループホーム、その他）	1							1				2	4
④自宅	20	15	20	21	14	19	21	18	18	18	12	17	213
⑤その他													0
合　　計	24	18	26	23	15	22	25	22	23	22	20	21	261

２．退院経路（退院後の行き先）

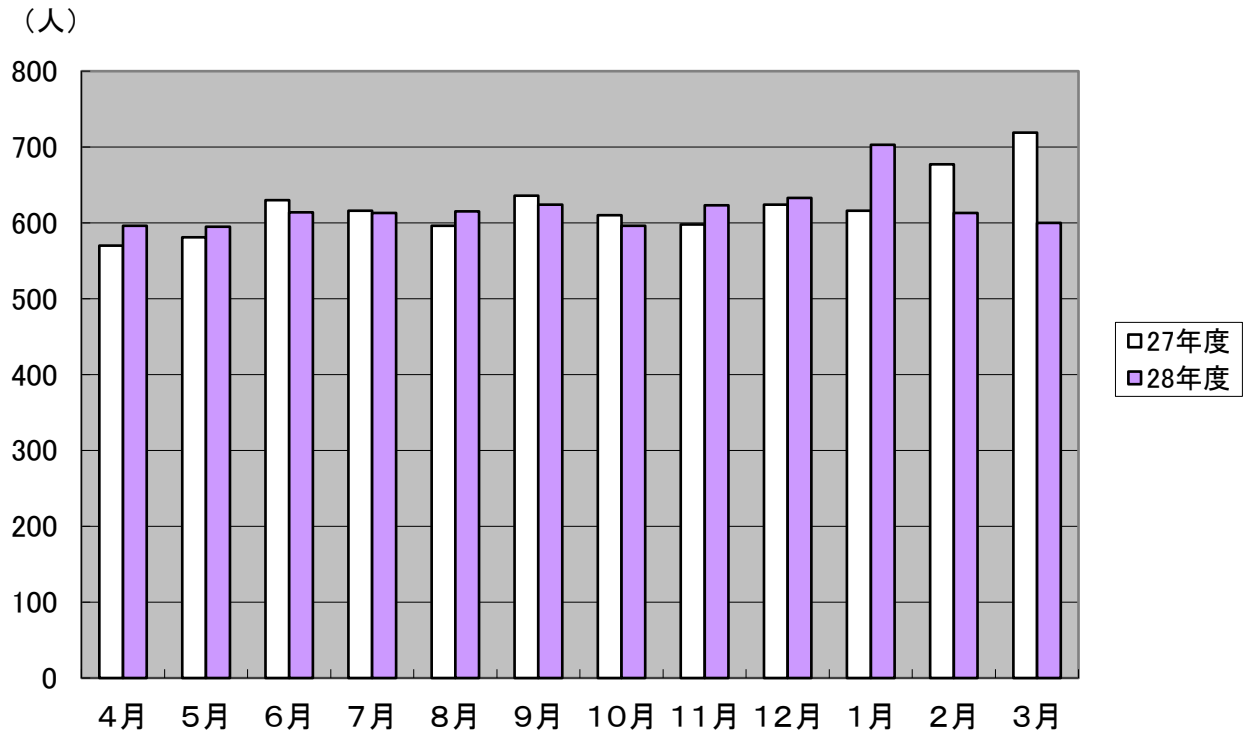
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	3	1	2	2	2	4	3	2	2	2	2	1	26
②他の病院の療養病床													0
③他の施設（特養、老健、グループホーム、その他）			1				1	1	2			3	8
④自宅	25	19	21	20	17	12	21	19	22	13	19	21	229
⑤その他（死亡、その他）	1	3	3	1			1	2	3	1		1	16
合　　計	29	23	27	23	19	16	26	24	29	16	21	26	279





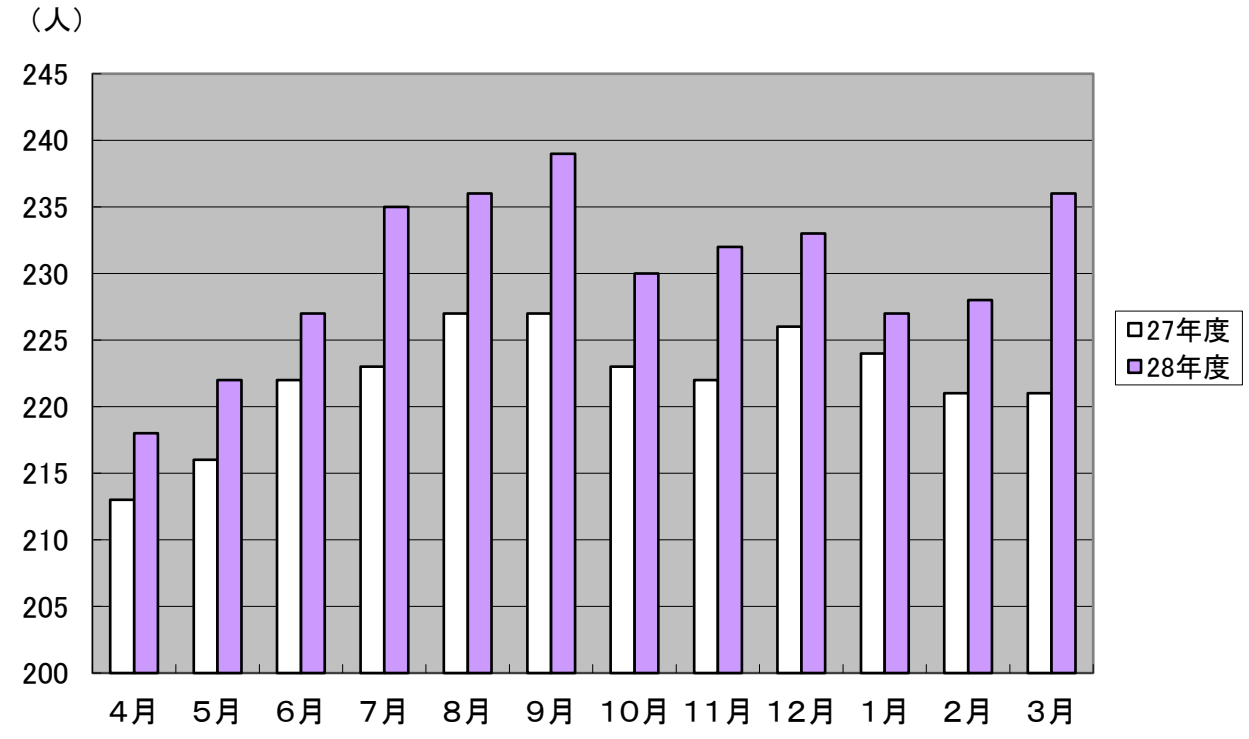
【上山病院】

⑧ 外来患者数(一般)



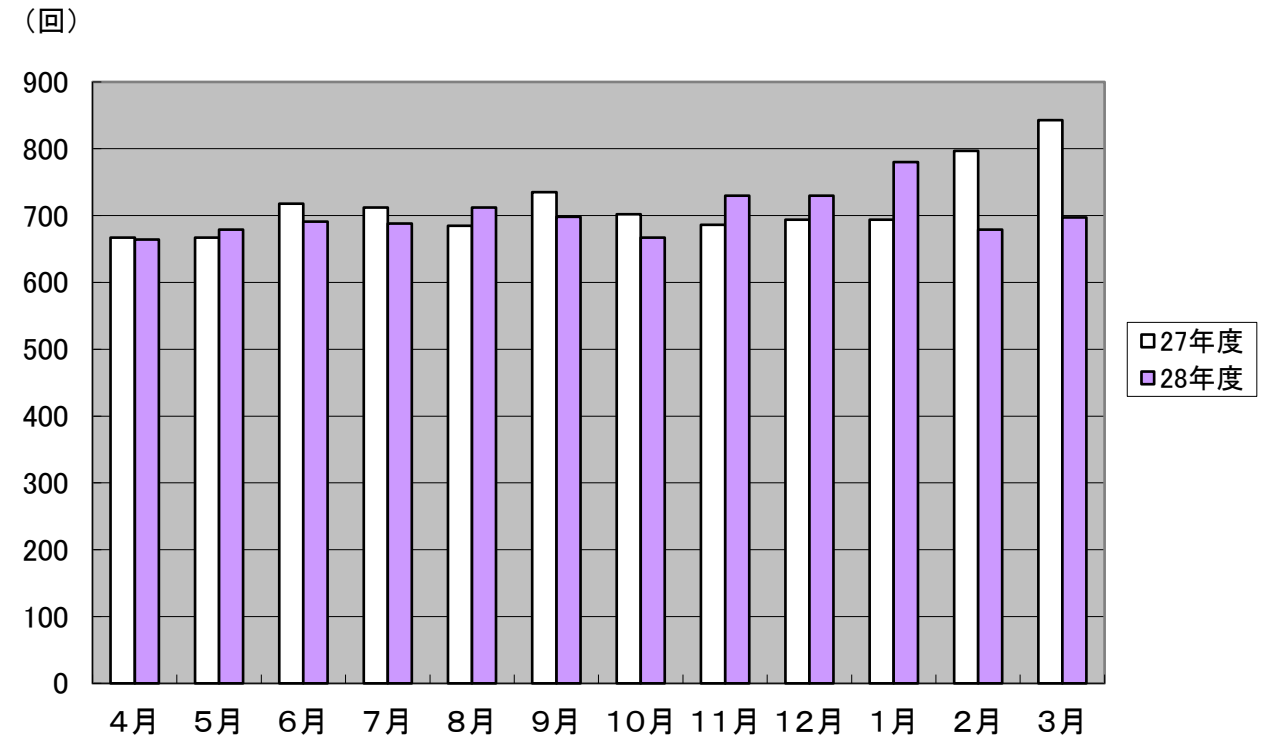
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	570	581	630	616	596	636	610	598	624	616	677	719	7,473
28年度	596	595	614	613	615	624	596	623	633	703	613	600	7,425

⑨ 外来患者数(透析)



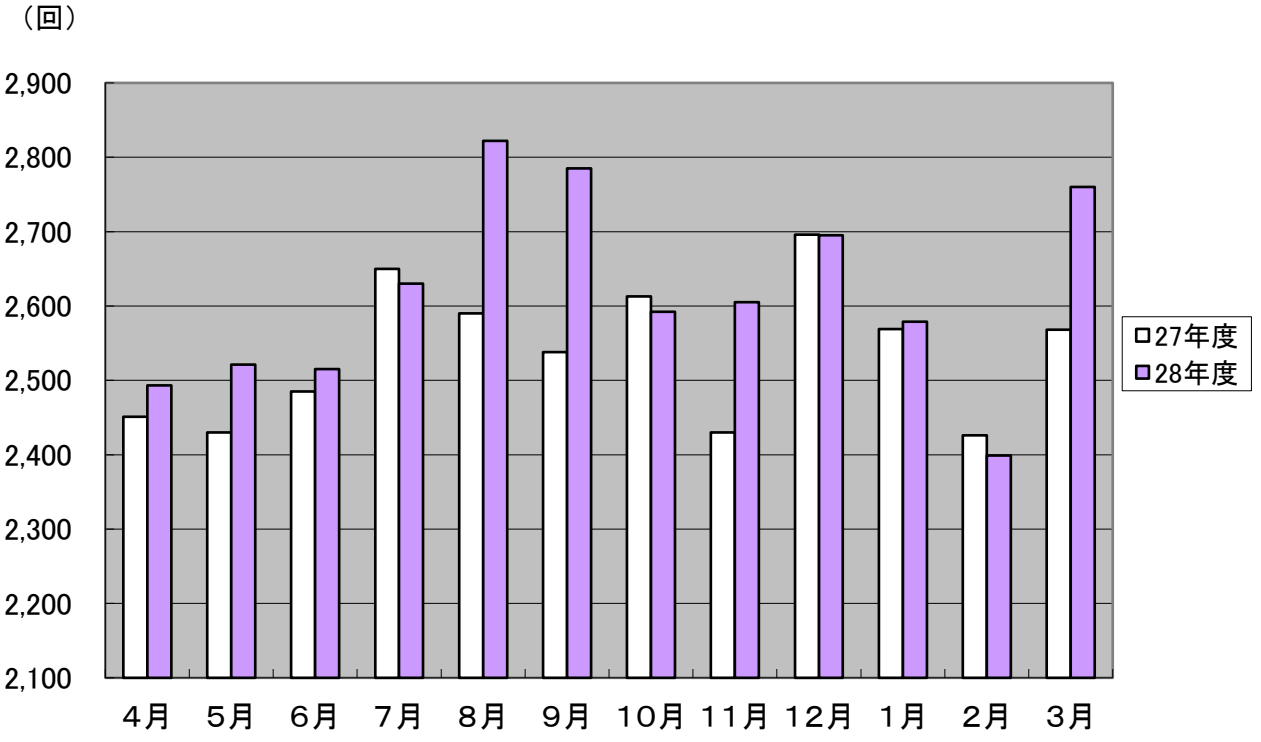
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	213	216	222	223	227	227	223	222	226	224	221	221	2,665
28年度	218	222	227	235	236	239	230	232	233	227	228	236	2,763

⑩外来診療回数(一般)



一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	667	667	718	712	685	735	702	686	694	694	797	843	8,600
28年度	664	679	691	688	712	698	667	730	730	780	679	697	8,415

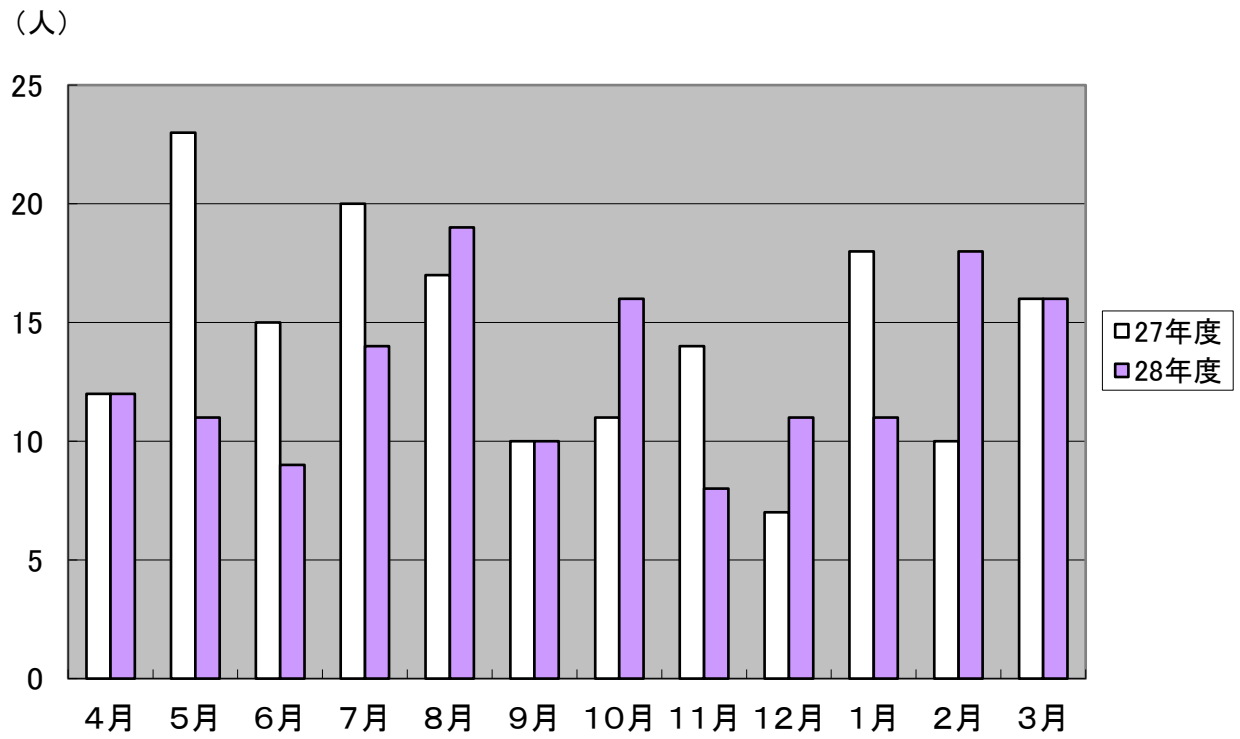
⑪外来診療回数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	2,451	2,430	2,485	2,650	2,590	2,538	2,613	2,430	2,696	2,569	2,426	2,568	30,446
28年度	2,493	2,521	2,515	2,630	2,822	2,785	2,592	2,605	2,695	2,579	2,399	2,760	31,396

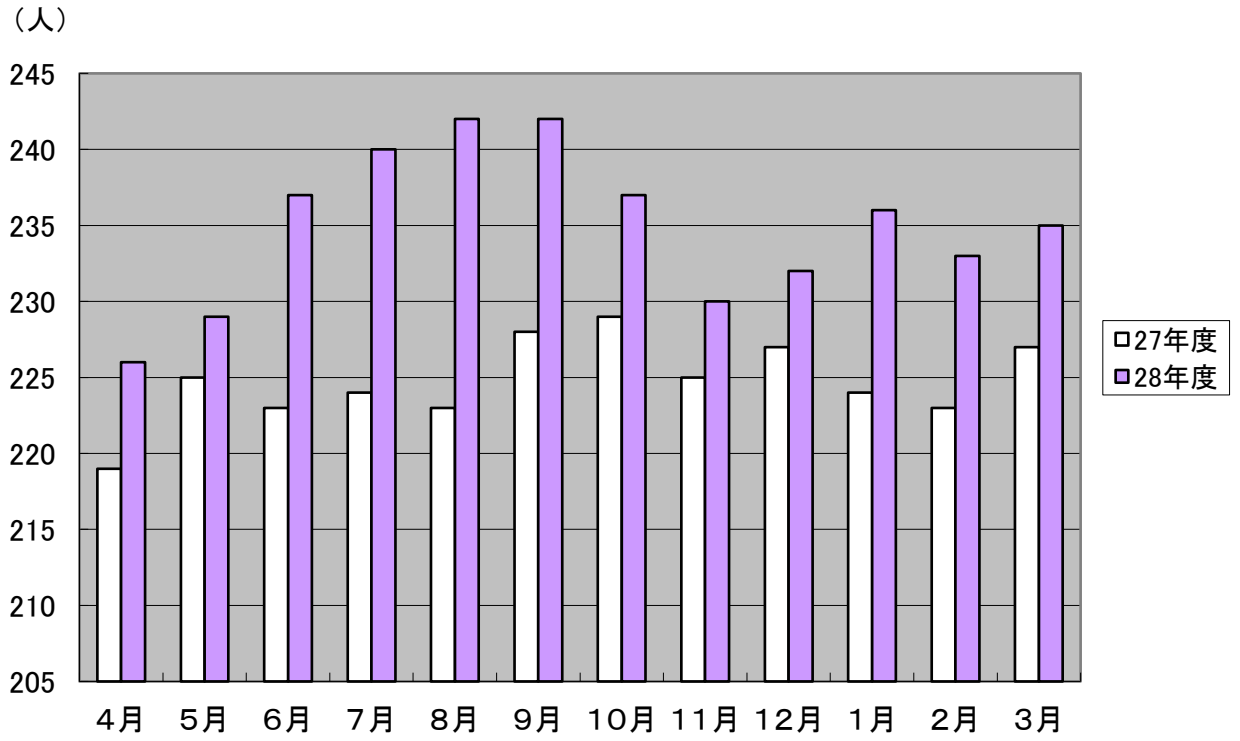
【上山病院】

⑫ 紹介受け入れ患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	12	23	15	20	17	10	11	14	7	18	10	16	173
28年度	12	11	9	14	19	10	16	8	11	11	18	16	155

⑬維持透析患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	219	225	223	224	223	228	229	225	227	224	223	227	2,697
28年度	226	229	237	240	242	242	237	230	232	236	233	235	2,819

⑭　禁煙外来

	平成27年度	平成28年度
新規受診者数	12	10
うち成功者数	4	3

※これまでの総数129名受診中46名成功

⑮ 健診件数

平成28年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診
	国保	社保			
4月	9	0	0	1	28
5月	7	0	1	1	27
6月	7	2	7	0	7
7月	5	1	1	1	10
8月	3	0	2	0	4
9月	8	2	0	1	12
10月	4	1	0	0	16
11月	5	2	0	0	1
12月	7	0	0	0	4
1月	8	1	0	1	13
2月	2	1	0	0	12
3月	5	1	0	0	8
小　計	70	11	11	5	142
合　計	81				

【上山病院】

⑯ 臨床検査データ

平成28年度検体数

血液検査件数

項目/外・入	外来	入院	検診	合計
T-Bil	76	26	2	104
AST	4,375	320	517	5,212
ALT	4,374	321	517	5,212
ALP	3,645	261	277	4,183
GGT	3,788	284	518	4,590
LDH	3,608	274	277	4,159
TG	3,979	257	518	4,754
HDL	3,979	257	518	4,754
LDL	3,979	257	518	4,754
BUN	8,313	607	3	8,923
CRE	8,287	620	487	9,394
UA	8,196	567	66	8,829
Na	8,086	594	66	8,746
K	8,174	602	1	8,777
Cl	8,086	594	1	8,681
Ca	7,805	542	0	8,347
IP	7,803	538	0	8,341
Fe	3,303	219	0	3,522
TP	4,426	296	279	5,001
ALB	4,571	327	3	4,901
A/G	4,411	296	2	4,709
BS	1,140	44	518	1,702
HbA1c	765	17	79	861
GA	1,170	109	0	1,279
フェリチン	1,103	9	2	1,114
血液一般	8,562	795	445	9,802
WBC分類	70	82	26	178
CRP	238	355	1	594
PET検査	26	10	0	36
尿検査	4,182	111	436	4,729
塩分摂取量	666	1	0	667
合計	131,186	9,592	6,077	146,855

超音波検査件数

部位/件数	H28.4～H29.3	合計
血管	1,132	1,132
頸部	205	205
腹部	430	430
心臓	428	428
合計	2,195	2,195

輸血血液型検査件数

部位/件数	H28.4～H29.3	合計
交差試験	14	14
抗体スクリーニング	18	18
血液型	49	49
合計	81	81

⑰　撮影データ

撮影件数（平成28年度）

	ＣＴ	上山病院			うえやま腎クリニック			合計
		定期胸部	一般	アンギオ・ＰＴＡ	定期胸部	一般	アンギオ・ＰＴＡ	
4月	24	225	203	16	72	16	0	556
5月	24	222	87	17	78	2	0	430
6月	31	230	123	18	76	1	0	479
7月	25	237	65	14	76	0	0	417
8月	49	241	64	16	74	0	0	444
9月	47	243	44	25	73	0	0	432
10月	43	232	119	13	74	4	0	485
11月	33	235	60	16	74	0	0	418
12月	53	229	72	15	74	0	0	443
1月	48	230	58	13	74	0	0	423
2月	49	234	66	9	73	0	0	431
3月	64	237	55	16	78	0	0	450
合　計	490	2,795	1,016	188	896	23	0	5,408

ＣＴ撮影部位別件数（平成28年度）

頭部ＣＴ	60
胸部ＣＴ	130
腹部ＣＴ	335
頸部ＣＴ	0
下肢ＣＴ	0
合　計	525

単純ＣＴ	458
造影ＣＴ	29

読影件数（平成28年度）

	件数	読影回数
4月	30	5
5月	24	4
6月	27	4
7月	31	5
8月	39	4
9月	47	4
10月	55	5
11月	37	4
12月	26	4
1月	53	5
2月	46	4
3月	49	4
合計	464	52

⑱　上山病院　臨床工学科データ

平成28年度　上山病院生菌検査結果一覧表

測定場所			測定日	検査結果	管理基準	備考
項目	配管および装置名			(CFU/mL)	(CFU/mL)	
水道水	原水	MIZ754QC-H(原水)	2月13日	0.0	－	
前処理水	軟水	MIZ754QC-H(軟水)	2月13日	2.0以上	－	
処理水	処理水	MIZ754QC-H(RO膜直後)	2月13日	0.0	100 未満	
	処理水送液ライン	UF①: RO配管(1系統)	2月13日	0.00		
		UF②: RO配管(2系統)	2月13日	0.00		
2F透析原液(1系統)	A剤自動溶解装置(1系統)	DRY-11A	5月9日	0.00		
	B剤自動溶解装置(1系統)	DRY-01	5月9日	0.00		
2F供給装置後透析液1系統	モルセップ(1-①系統)	ET-5E	5月9日	0.00		
	モルセップ(1-②系統)	ET-5E	5月9日	0.00		
2F透析原液(2系統)	A剤自動溶解装置(2系統)	DRY-11A	3月6日	0.00		
	B剤自動溶解装置(2系統)	DRY-01	3月6日	0.00		
2F供給装置後透析液2系統	モルセップ(2-①系統)	ET-5E	3月6日	0.00		
	モルセップ(2-②系統)	ET-5E	3月6日	0.00		
2F透析監視装置（カプラ後透析液）	1	DCS-100NX	11月7日	0.00	1未満	
	2	DCS-27	11月7日	0.00		
	3	DCS-27	11月7日	0.00		
	4	DCS-27	11月14日	0.00		
	5	DCS-27	11月14日	0.00		
	6	DCS-27	11月14日	0.00		
	8	DCS-27	11月21日	0.00		
	9	DCS-100NX	11月21日	0.00		
	10	DCS-100NX	12月5日	0.00		
	11	DCS-100NX	12月5日	0.00		
	12	DCS-100NX	12月5日	0.00		
	13	DCS-100NX	12月12日	0.00		
	14	DCS-100NX	12月12日	0.00		
	15	DCS-27	12月12日	0.00		
	16	DCS-27	1月16日	0.00		
	17	DCS-27	1月16日	0.00		
	18	DCS-27	1月16日	0.00		
	19	DCS-100NX	1月23日	0.00		
	20	DCS-100NX	1月23日	0.00		
	21	DCS-100NX	1月23日	0.00		
	22	DCS-100NX	2月6日	0.00		
	23	DCS-100NX	2月6日	0.00		
	24	DCS-100NX	2月6日	0.00		
	35	DCS-27	4月18日	0.00		
	26	DCS-27	4月25日	0.00		
	27	DCS-27	4月25日	0.00		
	28	DCS-27	4月25日	0.00		
	29	DCS-27	4月11日	0.00		
	30	DCS-100NX	4月11日	0.00		
	31	DCS-100NX	4月11日	0.00		
	32	DCS-100NX	4月11日	0.00		
	33	DCS-100NX	4月18日	0.00		
	34	DCS-100NX	4月18日	0.00		
	25	DCS-27	4月25日	0.00		
	135	TR-3300M	9月5日	0.00		
	136	TR-3300M	9月5日	0.00		
	137	TR-3300M	9月5日	0.00		
	138	TR-3300M	9月5日	0.00		
	139	TR-3300M	9月5日	0.00		
	140	TR-3300M	9月5日	0.00		
	141	TR-3300M	9月5日	0.00		
	142	TR-3300M	9月5日	0.00		
	44	DCS-100NX	5月16日	0.00		

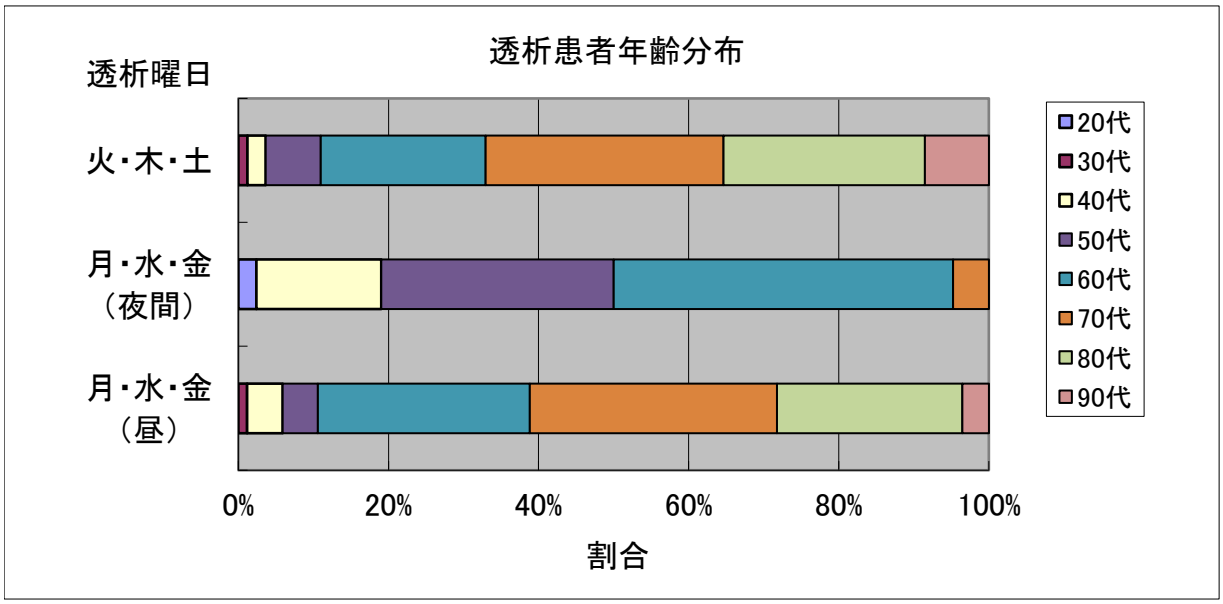
平成28年度　上山病院生菌検査結果一覧表

測定場所			測定日	検査結果	管理基準	
項目	配管および装置名			（CFU/mL）	（CFU/mL）	
2F透析監視装置（カプラ後透析液）	45	TR-3300M	5月27日	0.00	1未満	
	46	TR-3300M	5月27日	0.00		
	47	TR-3300M	5月27日	0.00		
	48	TR-3300M	5月27日	0.00		
	49	DCS-100NX	5月27日	0.00		
	50	TR-3300M	6月6日	0.00		
	51	TR-3300M	6月6日	0.00		
	52	TR-3300M	6月6日	0.00		
	143	TR-3300M	9月5日	0.00		
	54	TR-3300M	6月14日	0.00		
	144	TR-3300M	9月5日	0.00		
	145	TR-3300M	9月6日	0.00		
	146	TR-3300M	9月6日	0.00		
	147	TR-3300M	9月6日	0.00		
	148	TR-3300M	9月6日	0.00		
	149	TR-3300M	9月6日	0.00		
	150	TR-3300M	9月6日	0.00		
	151	TR-3300M	9月6日	0.00		
	152	TR-3300M	9月6日	0.00		
	153	TR-3300M	9月6日	0.00		
	154	TR-3300M	9月6日	0.00		
	66	DCS-27	7月11日	0.00		
	67	DCS-27	7月11日	0.00		
	68	DCS-27	7月11日	0.00		
	69	DCS-27	7月11日	0.00		
	70	DCS-27	8月1日	0.00		
	71	DCS-27	8月1日	0.00		
	72	DCS-27	8月1日	0.00		
	73	DCS-27	8月8日	0.00		
	74	DCS-27	8月8日	0.00		
	82	DCS-27	8月8日	0.00		
処理水	UF③：RO配管（3系統）		10月17日	0.00	100未満	
3F透析原液	タンクA		2月20日	0.00	1未満	
	B剤自動溶解装置	BFI-JP	2月20日	0.00		
3F供給装置後透析液	モルセップ3	ET-3E	2月20日	0.00		
3F透析監視装置（カプラ後透析液）	76	DCS-27	8月22日	0.00		
	77	DCS-27	8月22日	0.00		
	78	DCS-27	8月22日	0.00		
	53	DCS-27	6月6日	0.00		
	55	DCS-27	6月14日	0.00		
	56	DCS-27	6月14日	0.00		
	57	DCS-27	6月14日	0.00		
	83	TR-3300M	10月3日	0.00		
	84	TR-3300M	10月3日	0.00		
	58	DCS-27	6月20日	0.00		
	59	DCS-27	6月20日	0.00		
	60	DCS-27	6月20日	0.00		
	61	DCS-27	6月20日	0.00		
	62	DCS-27	7月4日	0.00		
	63	DCS-27	7月4日	0.00		
	64	DCS-27	7月4日	0.00		
	65	DCS-27	7月4日	0.00		
	93	DBG-02	10月17日	0.0		
	個人用水処理装置	MH500CX	10月17日	0.96	100未満	
	97	DCS-27	10月3日	0.00	1未満	

【上山病院】

⑲　透析患者年齢分布（平成29年3月末現在）　**※3階透析室も含む**

	月・水・金 （昼）	月・水・金 （夜間）	火・木・土
20代	0	1	0
30代	1	0	1
40代	4	7	2
50代	4	13	6
60代	24	19	18
70代	28	2	26
80代	21	0	22
90代	3	0	7
合計	85	42	82



⑳給食状況　（平成28年度）

ア　患者給食数

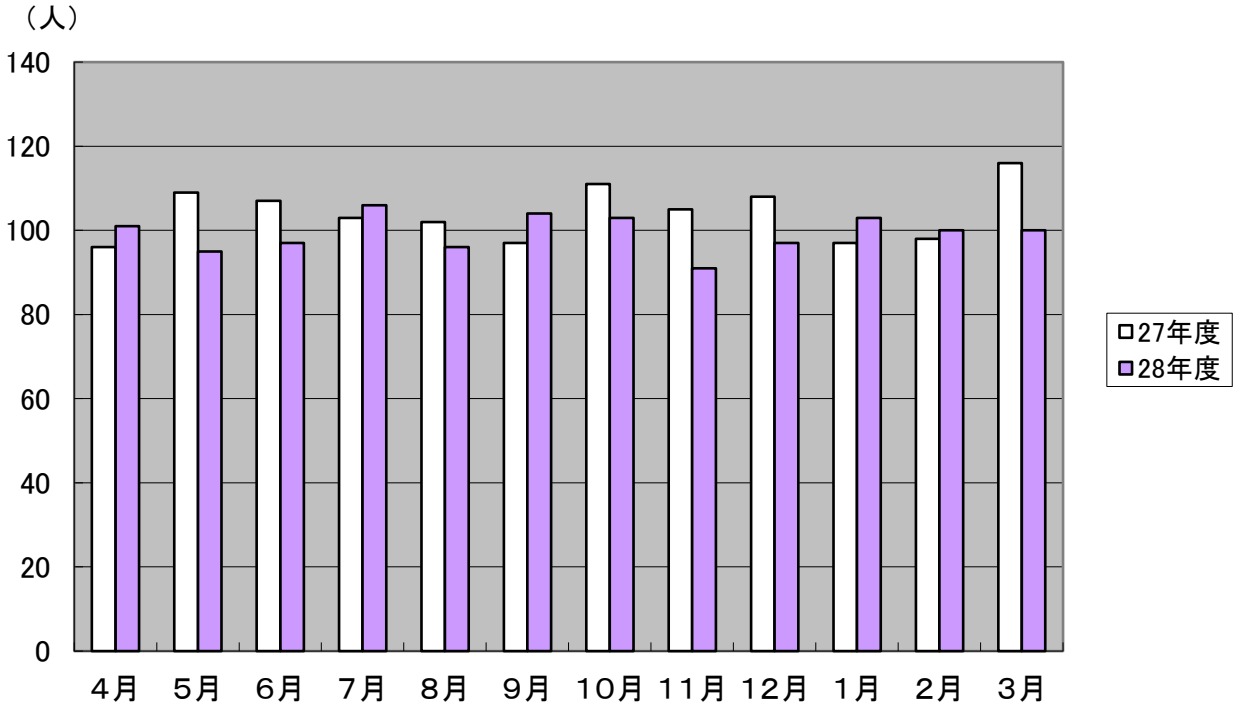
食種＼項目		延給食数	一日平均給食数	職種別構成比	延給食数 対前年度比
一般食	常食	944	2.6	4.1	126.0%
	流動食	0	0	0	0.0%
特別食	腎臓病	20,519	56.2	89.8	107.7%
	心臓病	406	1.1	1.8	292.1%
	糖尿病	26	0.1	0.1	36.1%
	経管栄養	943	2.6	4.1	57.1%
合計		22,838	62.6	100	105.5%

イ　個人栄養指導件数

区分＼項目	件数	対前年度比
外来患者	121	64.4%
入院患者	76	102.7%
合計	197	75.2%

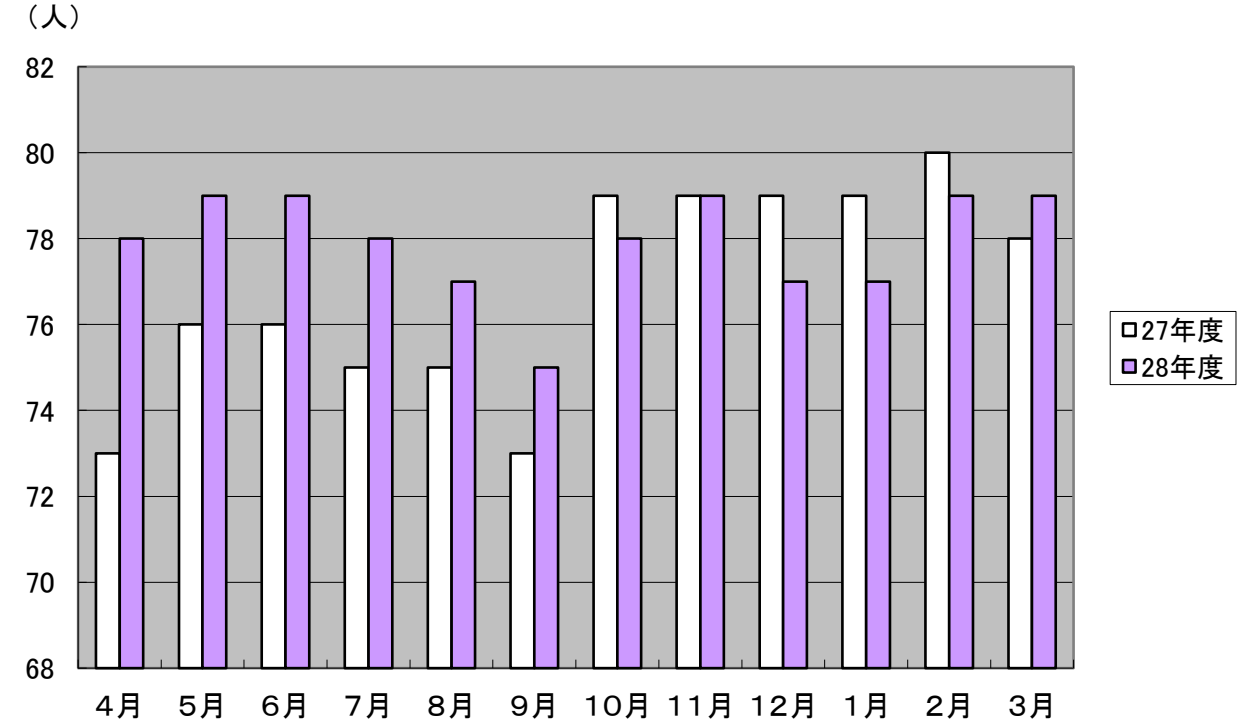
(2)患者データ 【うえやま腎クリニック】

① 外来患者数(一般)



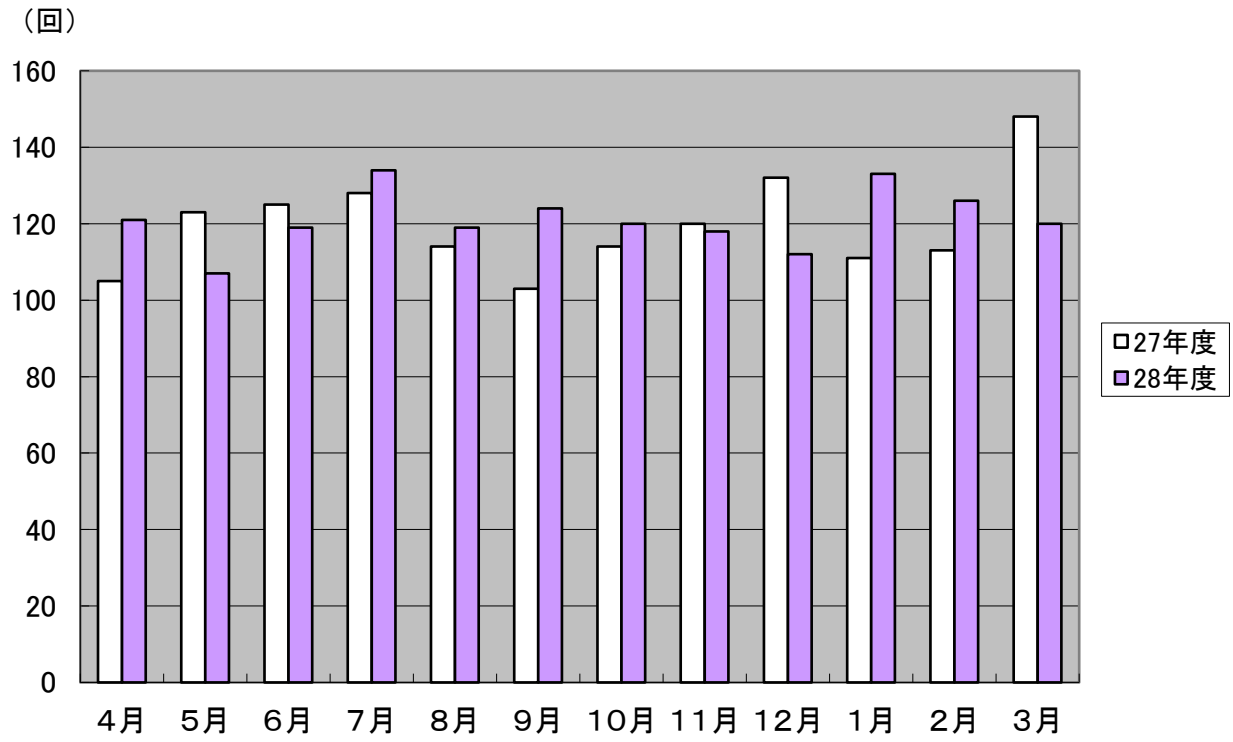
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	96	109	107	103	102	97	111	105	108	97	98	116	1,249
28年度	101	95	97	106	96	104	103	91	97	103	100	100	1,193

② 外来患者数(透析)



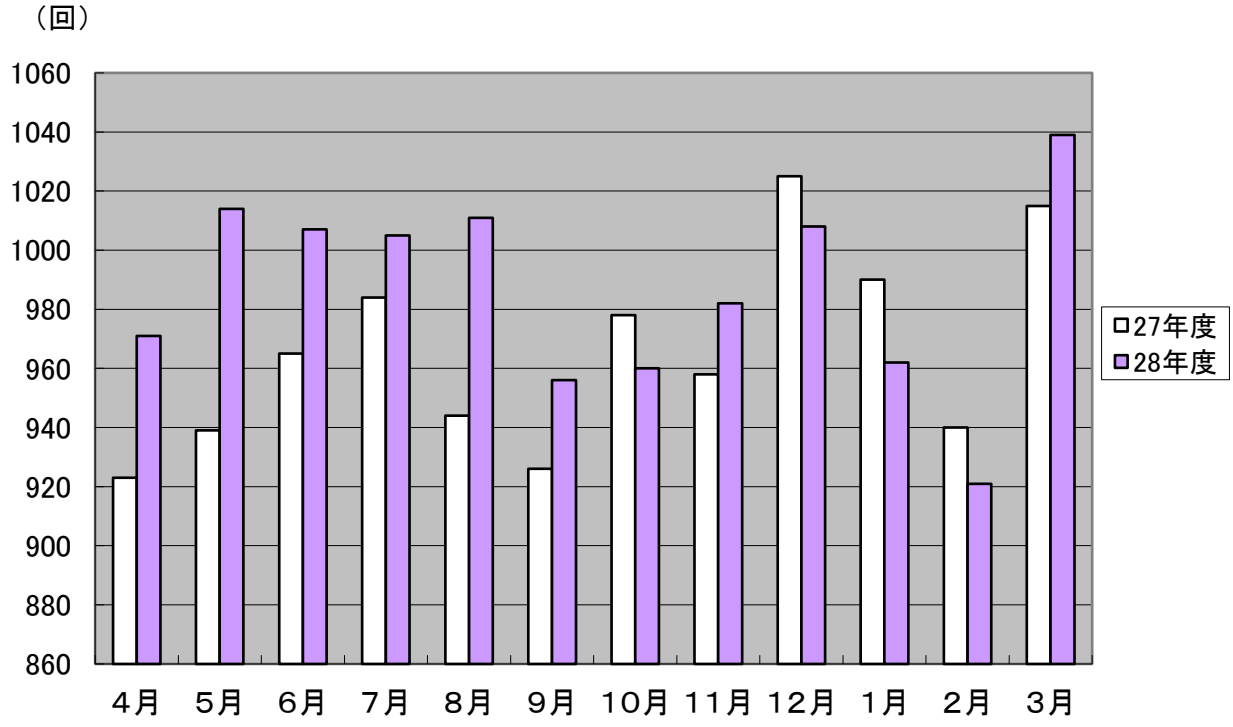
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	73	76	76	75	75	73	79	79	79	79	80	78	922
28年度	78	79	79	78	77	75	78	79	77	77	79	79	935

③外来診療回数(一般)



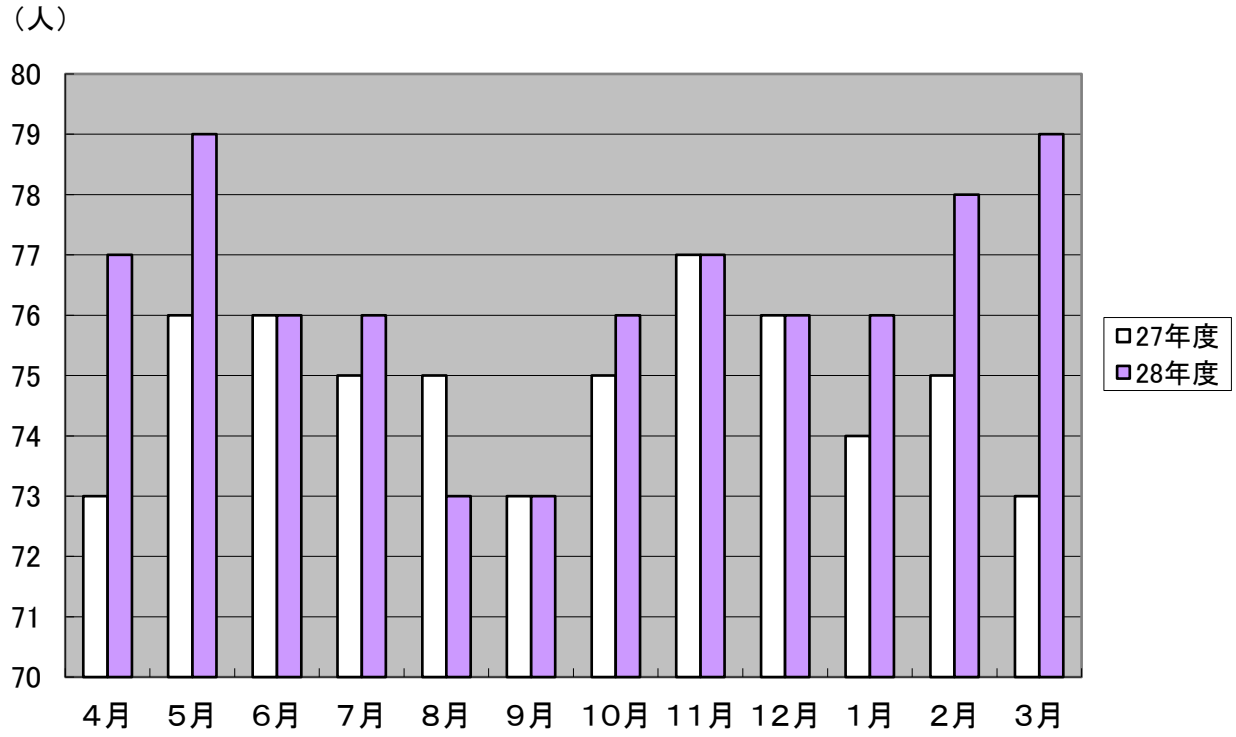
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	105	123	125	128	114	103	114	120	132	111	113	148	1,436
28年度	121	107	119	134	119	124	120	118	112	133	126	120	1,453

④外来診療回数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	923	939	965	984	944	926	978	958	1025	990	940	1015	11,587
28年度	971	1014	1007	1005	1011	956	960	982	1008	962	921	1039	11,836

⑥維持透析患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	73	76	76	75	75	73	75	77	76	74	75	73	898
28年度	77	79	76	76	73	73	76	77	76	76	78	79	916

⑦ 健診件数

平成28年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診
	国保	社保			
4月	0	1	0	0	0
5月	2	0	0	0	0
6月	3	0	0	0	0
7月	2	0	0	0	0
8月	2	1	0	0	0
9月	2	0	0	0	0
10月	1	0	0	0	0
11月	2	0	0	0	0
12月	2	0	0	0	0
1月	3	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	0
3月	1	1	0	0	0
小計	21	3	0	0	0
合計	24				

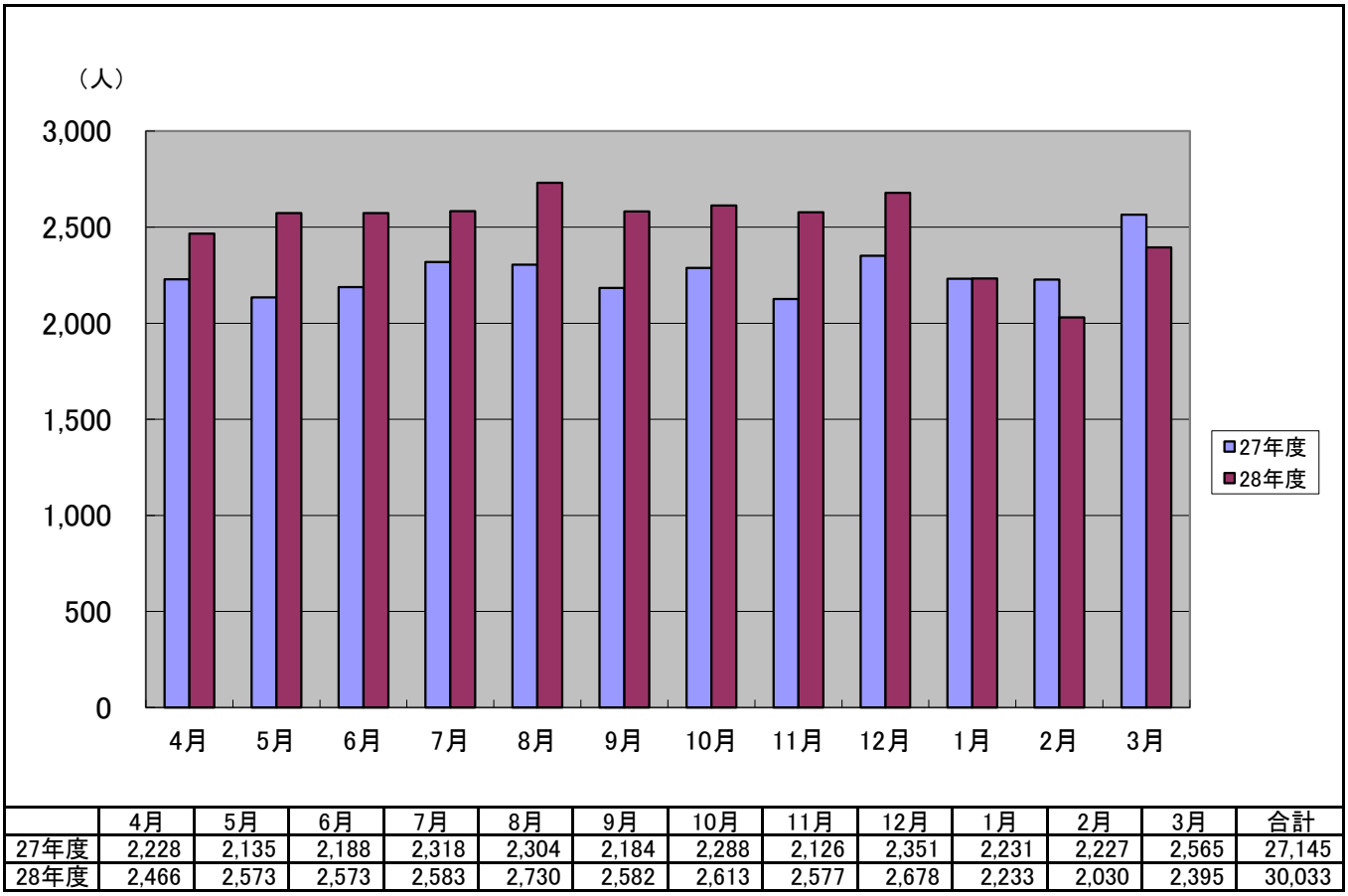
⑧ うえやま腎クリニック 臨床工学科データ

平成27年度うえやま腎クリニック 生菌検査結果

サンプリング場所	機種名	測定日	測定値（CFU/50mL）	測定値（CFU/mL）	備考
水道水					
原水	MIZ752C-H	2月15日	0	0	
軟水	MIZ752C-H	2月22日	100以上	2以上	
処理水	MIZ752C-H	2月22日	98	1.96	
UF		2月15日	7	0.14	
A剤自動溶解装置	A-HI	2月29日	0	0	
B剤自動溶解装置	DRY-01	2月29日	0	0	
多人数供給装置	DAB-50E	2月15日	3	0.06	
モルセップ（A）	ET-5E	2月29日	0	0	
モルセップ（B）	ET-5E	2月29日	0	0	
コンソール　No.1	DCS-27	5月25日	0	0	
コンソール　No.6	DCS-27	5月25日	0	0	
コンソール　No.7	DCS-27	5月25日	0	0	
コンソール　No.12	DCS-27	5月26日	0	0	
コンソール　No.13	DCS-27	6月15日	0	0	
コンソール　No.2	DCS-27	6月15日	0	0	
コンソール　No.3	DCS-27	6月15日	0	0	
コンソール　No.4	DCS-27	6月22日	0	0	
コンソール　No.5	DCS-27	6月22日	0	0	
コンソール　No.8	DCS-27	9月14日	0	0	
コンソール　No.45	DCS-27	9月14日	0	0	
コンソール　No.46	DCS-27	9月14日	0	0	
コンソール　No.47	DCS-27	10月19日	0	0	
コンソール　No.48	DCS-27	10月19日	0	0	
コンソール　No.49	DCS-27	10月26日	0	0	
コンソール　No.50	DCS-27	10月26日	0	0	
コンソール　No.51	DCS-27	10月26日	0	0	
コンソール　No.52	DCS-27	11月30日	0	0	
コンソール　No.53	DCS-27	11月30日	0	0	
コンソール　No.54	DCS-27	11月30日	0	0	
コンソール　No.165	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.166	DCS-100NX	7月21日	4	0.08	
コンソール　No.167	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.168	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.169	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.170	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.171	DCS-100NX	7月21日	1	0.02	
コンソール　No.172	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.173	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.174	DCS-100NX	7月21日	0	0	
コンソール　No.57	DCS-27	9月28日	0	0	
コンソール　No.156	DCS-100NX	11月9日	0	0	
コンソール　No.157	DCS-100NX	11月9日	0	0	
コンソール　No.18	DCS-27	11月9日	0	0	
コンソール　No.19	DCS-27	11月9日	2	0.04	
コンソール　No.22	DCS-27	12月14日	0	0	
コンソール　No.23	DCS-27	12月14日	0	0	
コンソール　No.24	DCS-27	12月14日	0	0	
コンソール　No.25	DCS-27	12月21日	0	0	
コンソール　No.30	DCS-27	12月21日	0	0	

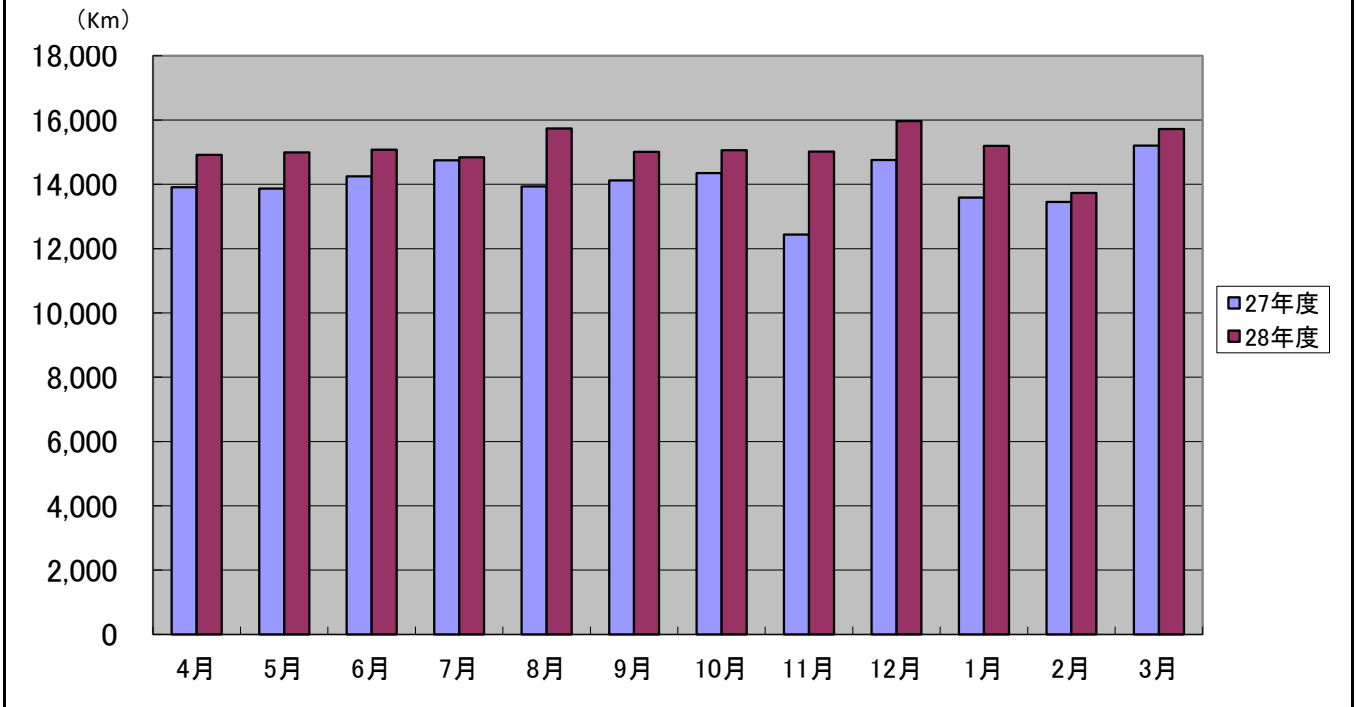
(3)送迎データ

①送迎延患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	2,228	2,135	2,188	2,318	2,304	2,184	2,288	2,126	2,351	2,231	2,227	2,565	27,145
28年度	2,466	2,573	2,573	2,583	2,730	2,582	2,613	2,577	2,678	2,233	2,030	2,395	30,033

②送迎走行距離



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
27年度	13,912	13,864	14,244	14,746	13,933	14,118	14,348	12,440	14,756	13,589	13,452	15,204	168,606
28年度	14,913	14,996	15,075	14,843	15,738	15,012	15,063	15,018	15,964	15,199	13,730	15,724	181,275

②就業状況

	平均		男性		女性	
	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
勤続年数	7.4	7.2	7.4	7.3	7.4	7.1
平均年齢	41.8	42.1	46.8	45.5	39.8	40.6

退職率	平均		職員数		退職者数	
	27年度	28年度	27年度	28年度	27年度	28年度
全 体	13.0%	14.5%	138	152	18	22
男 性	7.7%	8.7%	39	46	3	4
女 性	15.2%	17.0%	99	106	15	18

復職率	27年度	28年度
	0.00%	0.00%

※パートへの復職を含む（育休・介休などの休職後の復帰を含まず。）

有給取得率	27年度	28年度
	63.2%	62.1%

※（28年4月から29年3月までの総取得日数）÷（29年3月現在で直近に付与された日数の総計）

（4）職員データ

①職員数（平成29年3月31日現在）

項目			HP	CL	光陽	本部	USK	計
所属法人	1	腎愛会	99	19	13	23	0	154
	2	ＵＳＫ企画	17	2	0	1	7	27
	計		116	21	13	24	7	181
勤務状況	1	常勤	64	6	11	17	18	116
	2	日勤	18	6	1			25
	3	短時間勤務		2		1		3
	4	契約職員			1	1		2
	5	嘱託職員		2			1	3
	6	非常勤	12	2		2	8	24
	8	休職	5			2		7
	計		99	19	13	23	27	181
性別	1	女性	72	16	9	9	24	130
	2	男性	27	3	4	14	5	53
	計		99	19	13	23	29	183
資格・職種	1	医師	12	2				14
	2	薬剤師	3					3
	3	診療放射線技師	2					2
	4	臨床検査技師	3					3
	5	臨床工学技士	7	2				9
	6	管理栄養士/栄養士	2					2
	7	理学療法士	1					1
	8	社会福祉士	2					2
	9	看護師	37	13	4	0	0	54
	10	准看護師	8					8
	11	介護支援専門員			1			1
	12	介護福祉士			6			6
	13	作業療法士			1			1
	14	ケアスタッフ	21	2				23
	15	技師助手	1					1
	16	医療事務				2	11	13
	17	一般事務			1	11	4	16
	18	営業事務/営業員					5	5
	19	技術員						0
	20	運転手				8		8
	21	清掃員					6	6
	22	その他				2	1	3
	計		99	19	13	23	27	181

医療法人　腎愛会　　平成 28 年度年報

発行月　　平成 29 年 11 月
発行者　　医療法人腎愛会　法人本部